（明治四十二年九月十日第三種郵便物認可）（年中無休刊）

京城日報

十三日夕刊

定價　本紙
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

米獨壌絶交後の形勢

▲重大なる形勢促進か
ツユリノ號撃沈事件より

華盛頓來電＝米國より英國に向ひたる英國貨物船ツユリノ號は撃沈され火夫米國人ヂヨーヂ、ワシントンなる者は殺され他の米國人船員一名は助かりたる旨報道あり政府は直ちに詳細調査に著手したり嚢に獨逸政府がベルンストルフ伯の安全退去に對する人質同様の目的を以てゼラード大使其他米國官民を抑留しつゝありとの報道達したる時は寧ろ其の眞實を疑ひたりしが其後の報道にて抑留の事實確かめらるゝに至り大に米國官民の感情を害したり又カリフォルニア號撃沈に際し船員たりし米國人一名救助されたるも無警告撃沈なる點は理論上開戰の理由を爲すものなりとの議論盛なりしも政府は單に理論上の理由を以て宣戰するを欲せずとの態度なりき然れどツユリノ號事件調査の結果は次第に依りては遽に重大なる形勢促進を示すべしと豫期され大統領ウヰルソン氏はツユリノ號撃沈の報道を得ると共に直ちに國務陸海三卿を主務省に自ら歴訪して協議する所ありたり（紐育電報）

▲駐支獨公使の辯駁
獨逸公使ヒンツエ氏は段總理を訪問し米國と支那との立場の異なるを説き米國と同一の行動に出づるは不當ならんと支那の抗議書に對し辯駁せり（北京特電）

○獨帝對希臘王忠告
サロニカ來電＝傳ふる所に依れば、獨帝は希臘王に對し所謂聯合國に對抗して貴國を保護する事叶はざれば陛下自ら其の王位を維持せんが爲めに力を盡さるべしと忠告したりと（倫敦電報）

○内田大使の露都著
新任駐露日本大使子爵内田康哉氏は露都に到著せり（露都電報）

○林駐支公使歸朝談
支那の對獨通牒＝日支の提携＝日米の對支提携＝支那の内政

本野外相の召電に接し歸朝の途にありし駐支公使林權助男は十二日午後八時四十分東京驛著列車にて歸京せり男は國府津驛迄出迎たる記者に語りて曰く支那が今回獨逸に強硬なる通牒を送り聯合國側と協同の動作を執らんとするに至りたるは唯米國の勸誘のみに依るに非ず他に有力なる聲援ありたるものなり支那も當西の軍國主義を打破せざるべからずとする聯合國側の立場を諒解し大義明分の爲めに此擧に出でたるものと解すべく之を支那が唯利害の打算より爲したるものに見るは誤れり又支那にも近來日本と提携して事を爲さんとする風あるは悦ぶべし現時の支那外交總長伍廷芳氏は有數の人物なり而して日支間に種々なる誤解ありとせば是れ支那人のみの罪にあらず日本の要求にも支那の見て以て無理なりと爲すものあり由來支那の事たる日本の決心に俟つ可きもの多し例へば山東の軍政署存廢に關しても日本さへ決心すれば今日撤兵するも何の不可かあらん又支那に於ける經濟的發展に就ても日米提携せば支那は是に對し可否を述ぶるの要なかるべし支那の内政は今は平穩の狀態にあり南方派北方派の區別今猶存すれども漸次其の色彩薄らぎつゝあり帝政復活の如きも猶之を夢みる者あれども之が實現は蓋し大なる疑問ならんと（東京特電）

○醫師會の方策
北里金杉兩醫學博士を初め醫士會より廿名乃至卅名陸海軍出身者より十名内外の候補者を出す事に方策確定せりと傳へらる（東京電報）

○藥劑師會の活動
日本醫師會の活動に準じ日本藥劑師會又選擧運動を開始せり（東京電報）

○朝鮮製糖發企會
朝鮮製糖會社發企人會は十二日午後より開會、創立委員長に藤山雷太氏を推薦し株式十萬株中三萬五千株は發企人に於て之れを引受くる事に決定せり（東京電報）

○通化分館開館
安東領事館通化分館は三月一日より開館するに決し館員書記生二名警部一名巡査二名計五名の一行は十二日夜安東出發奉天經由赴任せり（安東縣特電）

○白仁長官轉任說否認
此程來白仁關東都督府民政長官の轉任說あり之れを同長官に訊すに氏は言下に否認せり（東京電報）

◎支那對獨抗議全文
提出始末

米獨國交斷絶の結果支那政府は獨逸の潜水艇海溝封鎖宣言に對し二月九日第四回國務會議を開き特に陸徴祥曹如霖徐世昌梁啓超汪大燮湯化龍等在野外交家政治家を召集し意見を聽取し支那政府の執るべき態度を決定し九日午後六時支那政府は外交總長伍延芳の名に於て獨逸公使に左の抗議を提出し一方米國公使には一致の行動を取るべきを聲明せり

對獨逸抗議文書

二月一日弊國政府は貴國政府の通牒に接したり貴國政府は二月一日以後海上封鎖策を採用するに就き中立國船舶の一定禁制區域内に立入るは危險なりとの事なり從來貴國の潜航艇戰の爲めに被りし弊國人民の損害尠しとせず然るに更に猛烈なる潜航艇戰策を實行せらるゝに於ては弊國人民の生命財産の危險甚しく實に國際公法の本義を蹂躙するものなり若し此項の通牒を承認せば其結果中立諸國間及び中立諸國と交戰國との正當通商をして悉く侵害せられ國際公法上專横無道の主義を導くものなり故に弊國政府は二月一日宣言の新戰策に對し特に貴國政府に嚴重なる抗議を提出するものなり以て中立諸國の權利を尊重し並に兩國親善關係の維持せられんが爲めに貴國政府の此の新戰策の實行せらるゝ勿らん事を希望す若し事望外に出でて此抗議の無効に歸するが如きあらば弊國止むを得ず兩國の外交關係を斷絶するの外なく實に悲む可き現象に屬するも弊國政府の此態度を執るに至りしは全く世界の平和を増進し國際公法の權威を保持せんが爲めなるは言を待たず

一九一七年二月九日　外交總長伍延芳

獨逸帝國全權公使ヒンツエ閣下

▲對米回答書
提出すると同時に米國政府よりの勸告に對し左の如き回答を爲したり

對米聲明書

本月四日貴國政府の通牒に接する旨貴國政府は獨逸が二月一日以降採用せんとする潜航艇新戰策に對し必要の行動を取らんとの事なり竊かに惟みるに弊國政府の貴國大統領と意見の合致する處は即ち獨逸政府の危害を中立國人民の生命財産に及ぼし且中立國と中立國間及び中立諸國と交戰諸國間との正當通商を妨害せらるゝにあり若し其施行を默視して抗議を爲さゞらんか獨逸政府は恐くは遂に此新戰策を實行するに至るべし是れ國際法上特に新例を開くものにして此亦た弊國政府の意見を同うする所なり弊國政府は閣下の通牒中に表示されし態度に就ては全く贊同する所のものなり故に特に貴國政府と一致の態度を取り封鎖策に關しては已に獨逸政府に嚴重の抗議を提出し且つ中國政府は今後萬國公法の本義を維持するの目的上或は止むを得ずして必要の行動を取るべき事を表明したり弊總長は此の機會に於て閣下に最高の敬意を表す

支那政府の對獨態度決定せるにより政府は十日參衆兩院の同意を求めたるに兩院共黨派を別たず贊同したり又新聞紙も一般に歡迎の意を表し居れり、此時に當り日本は如何なる政策を行ふべきか支那當局が此際に乘じ活路を長めんとしつゝあり（北京）

◎學務主任會同
總督府にては二十六日より各道學務主任を召集し同日以降六日間各道學務主任會同を催すことゝなれり日程は未定なるも議場は第二會議室にて宇佐美内務長官統裁の任に膺る筈

◎定例長官會議
十三日は定例長官會議日なるより長谷川總督以下各部長官局長所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

◎船員試驗執行の件
臨時船舶職員試驗執行の件は二月十四日附告示を以て朝鮮總督府官報により發表の事となりたり

◎辭令
二月十日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府醫院醫官　氏家寧顯
歐洲に出張を命ず
朝鮮總督府技師　田村英太郎
陞叙高等官五等
依願免本官

◎歐行郵便注意
西伯利經由杜絶

歐洲行き郵便物は之れ迄西伯利亞を經由したるも同線は數日前より全然杜絶の止むなきに至れるを以て今後歐洲行き郵便物は米國經由と指定すること最も得策なる可しと

◎浦鹽南浦兩港開航
朝鮮郵船株式會社の浦鹽及び鎭南浦航路は結氷の爲め休航せしも近く解氷の見込付きたるにつき三月一日より開航すべしと

◎石塚總裁等歸期
石塚東拓總裁及び淸水參事は十二日東京出發歸京の途に就く筈なりしも重要社務中尚ほ終らざるものあり多分十五日頃出發歸途に就くべしと

◎東拓監査課長
東拓總務部監査課長は金融部金融課長笹岡一質氏兼任となり居りしも今回元同社鑛島並に江景出張所長たりし米山久彌氏新に參事として入社監査課長に就任したり

◎矢野稅關長歸朝
歐米各國に於ける稅關事務調査の爲め出張中なりし矢野釜山稅關長は十三日天洋丸にて橫濱著の旨當地稅關へ着電ありたりと（釜山）

◎櫻井中佐出發
前忠北警務部長櫻井中佐は既報の通り十一日午後四時半淸州發自動車にて芙江驛に出で同夜の南行急行列車に搭乘し任地久留米へ向け出發したるが淸州出發に際しては前後七年間の恩顧薫陶を受けたる内鮮五千の市民は隊長官舍前より忠北自動車停留場附近及び本町通の兩側に整列して熱心なる見送をなしたれば中佐も會釋しつゝ特に市中を徒歩にて通過し市街の南端石橋里に於て乘車するや同所迄態々附隨の一般見送人及び淸州在鄕軍人分會員淸州消防組合員淸州實業青年會員各學校生徒等無慮一千名は同氏の萬歲を三唱し實業青年會音樂隊の告別マーチの吹奏あり一行は同隊を先發に盛の自動車に分乘し同四時五十分芙江へ向ひ出發せり尚同中佐は淸州出發に際し淸州公立小學校へ金十五圓淸州公立普通學校へ金五圓在鄕軍人會淸州分會へ金五圓淸州實業青年會へ金五圓淸州消防組合へ金五圓隊本部警務部員研究會へ金五圓の寄附をなしたり（淸州）

◎新任警務部長著任
忠北警務部長前田少佐は十一日芙江驛著同地にて櫻井前警務部長より事務の引繼ぎを受け十二日午後零時四十分淸州著自動車にて着任したり當地官民の出迎へ盛なりき（淸州）

◎松永長官歸任
十一日午後下仁同地府廳一般事務視察中なりし松永長官入澤第一部長車田事務官の一行は十三日午前歸任せり

◎尹侯子の展墓
侯爵尹澤榮子爵尹德榮の兩氏は十三日午前九時十分南大門驛發列車にて展墓の爲め京畿道坡州郡條里面に向け出發せるが同日歸京の筈

【淸津】
▲明太漁狀　淸津近海の明太漁業は本年海潮の狀況に依りて例年より漁期早き模樣あり一月十七日角網一統の試驗的布設を見たるが同日より多少漁獲あり引續き漁獲絶ゆる事なく續々布設を見るに至り漁獲高日々數萬尾に達せり及び昨今の漁獲物は未だ乾製に至らず生鮮の儘地方及び奥地の需要に供しつゝあり一尾一錢五厘位を唱へ居れるが本年は昨今の模樣より見て當地方は豐漁なるが如し▲東海岸漁港工事　淸津東海岸漁港は大正五年度より二箇年繼續工事として昨年度に於ては南防波堤を完成し六年度に於ては北防波堤を竣功せしむるの豫定なりしも六年度補助額四萬五千五百圓が總督府六年度豫算に計上せられざる爲め工事中止の已むなきに至りたるが斯くては漁港經營上其他に於て不利益なるより一時起債を以て起工に決し之が起債認可を總督府に申請する所ありしが今般認可せられたるを以て東拓會社に交涉し起債の上四月年度替りより北防波堤工事に著手し年内に竣功せしむべき豫定なり▲間島鮮銀出張所　間島には從來金融機關の設置なかりしを以て商取引上甚だしき不便を來し淸津港の對間島貿易の如きも之がに其發展を阻害されたる事尠少にあらず故に從來屢々地方民より其筋に對し金融機關設置を請願したるも時期早尚の故を以て未だ實現を見ざりしは甚だ遺憾とせし所淸長鐵道も既に本年中には全通を見るべく愈々其急務を感ぜる折柄今回朝鮮銀行が其出張所を設置するに至りしとの報も實に大旱に慈雨を得たるの感あり而して彼の間島天寶山經營者南滿太興公司の名社長が其經營發展上且つ又た同地日支實業家の懇望を容れ間島に日支合辨の金融機關を設置せんとの計畫は今回鮮銀出張所の設置に依つて其必要を見ざるに至らん▲國境貿易成績　大正五年中豆滿江國境貿易額は輸出八十四萬二百三十四圓輸入四十一萬六百九十四圓計百二十一萬四千五百三十八圓にして之を大正四年に比すれば輸出に於て五十五萬餘圓輸入に於て二十六萬九千餘圓計八十一萬九千餘圓即ち約五割の激增を示せり尚ほ昨年中淸津港に於ける間島琿春通過貿易は間島琿春仕向八十六千五百十九圓同仕出九萬八千七百十三圓計九十二萬五千二百三十五圓にして之を前年に比するに仕向に於て三十一萬餘圓仕出に於て八萬一千餘圓計三十九萬餘圓即ち約八割の增加を示せり之が原因は昨年間島琿春地方が二三年振りにて豐作なりし結果地方民の物資購買力增進に基因するもの〻如し

【平壤】
▲漁業組合設立　平壤鎭南浦在住の内地人漁業者二十七名は二月十日同地料亭朝日館に集合して漁業同業組合を組織したるが組合長は互選の結果石川熊三氏に決定したり▲授業料規定改正許可　平壤學校組合より平南道廳長官に許可申請中なりし授業料規定改正の件は二月十三日許可の指令ありたり▲學校組合新設　平安南道价川郡軍隅里は三井輕鐵の終點驛所在地にして近來頓に内地人の移住者增加し隨て内地人就學兒童も增加し來りしも同所は從來學校なく爲に兒童は八里餘を隔たりたる新安州に通學する狀態なるより今回地方有志協議の上に學校組合を新設するの議に決し不日設立認可申請書を平安南道廳に提出すべしと▲獸疫續々發生す　平北雲山郡東進面利洞に二月二日頃より流行性鵞口瘡發生生牛十五頭に感染し益々流行の兆あり

【鎭南浦】
▲客月貿易　輸移入總額は四十七萬四千餘圓にして是を前年同月に比較すれば二萬餘圓の減少に過ぎざるも前年は一月中何迄航海繼續し得られたるに拘らず本年は一月初頭早くも結氷期に入りたるのみならず阪神穀物界の活氣なかりしため穀類の移出に於て約十三萬圓減の十二萬圓を算したるに過ぎざりし製鐵所の含金銀銅に於て約倍額の二十四圓を算し辛じて平均を保ちたる振合なるが其輸移入の部に於ては前年と大差なく三千餘圓の增加となり内譯に於て增加を示したる品目は細叺を主とし石油砂糖石炭にして減少したるものは綿糸を筆頭に鹽魚熟鐵機械類杯の數品なり是を要するに穀物界の沈滯に加へて結氷期に入れる爲め貿易は不振の域を脱し得ざりし譯合なり▲三銀行帳尻　三和農工朝鮮の三銀行一月末の帳尻は預金八十四萬八千圓貸金百九十萬六千圓なるが貸金は前月に比し二十三萬圓前年同月に比し八萬圓の增加にして其大部分は春相場待ち見返り米穀に對する貸出なり▲富田氏容態　過勞が因を爲せるため久しく自宅療養中の富田翁は昨今病勢餘程薄らぎたれば來々訪問者に面接しつゝあるも未だ常態に復する能はず一部の人々は此際半年若しくは一年間の轉地保養を勸告しつゝあり▲撞球大會　鎭南浦俱樂部に於て十、十一の兩日間擧行したる競技大會の主動者は一等堀二等集廣三等兼淸四等五島五等川畑の諸氏なりしと▲水產慰安會　十日恒例により漁者慰安會を朝日館に於て開催せり

【仁川】
▲精米業繁忙　例年一二兩月は籾の廻著減少すると共に精米業も又閑散を極むるを例とせるも本年は天日辻川奥田富士庄野等の露國輸出米の精搗に忙殺され居るを以て非常の活氣を呈し何れも夜業に從事し居れり因に昨今仁川には籾白米等の入津殆んど無く市場閑散を極め氣勢又軟弱なりと▲特志婦人會　仁川特志婦人會にては十三日午前十一時より鱗樓に於て創立記念會を催ほし京城よりは久水外事課長夫人下仁出席したり▲船渠會社發起人會　十二日午後四時より開催の筈なりしも松永道長官來仁の爲め延期となり十四日午後より開催▲支那領事催宴　仁川支那領事は十二日夜松永道長官を招待晩餐會を催ほしたり▲朝鮮運輸激增　近時我海運界は異常の發達を見るに至りたるが戰後の經營上船費の輕減を計り外國船舶との競爭に堪へざる可らざる關係上各船主は船税其他賦課税の低率なる朝鮮に船籍を置く事の有利なるを知るに至り最近に於ては帝國丸（五、一四七噸）霧島山丸（四、六四五噸）信貴丸（三、〇八三噸）英扇丸（三、二六一噸）永田丸（三、五二二噸）山王丸（三、四四〇噸）其他續々手續中の者あり因に仁川港は諸般の手續上其他種々の點に於て他港に比し便益多ければ右船籍の大半は當港扱ひの由

【群山】
▲委員上京　群山米穀取引所創立委員大澤藤十郎楠田義達大平德三郎氏等三名を取引所創立請願に關する陳情委員として上京せしむる筈なりしが既報せる如く小原長官出張不在中なるを以て長官歸任期迄上京を見合す事となりしが其後創立委員會合凝議の結果小原長官の歸任を俟たず再び前記三委員を上京せしむる事となり大澤委員は既に私用を兼ね九日出發したるが楠田大平兩委員は十三日出發上京すべしと▲商議特別議員　群山商業會議所特別議員として十日附左記三氏任命せられたり山本實己磯部謙藏中鍋南氏等

人事消息
▲水谷千萬吉氏（平壤鑛業所長）十三日朝退京
▲結城繁氏（淺野探金所長）同上
▲久保田稔藏氏（鮮銀鎭南浦支店長）同上

春雪所見　和田天民

瑤華繚亂滿街春。陰日縹緲雪徑新。婚殺風流蘇小客。雙々相提一傘粒。

又

飛瓊昨夜入京城。北嶽南山一望明。道有身離致美。天來巨匠玉雕成。

大田支局告白

伊藤静死去致候に就ては爾今支局員石田鶴吉を以て集金其他の件を取扱はしめ候條廣告料等は御懸念無く御支拂被下度候也

大正六年二月十二日　京城日報社大田支局　未亡人　伊藤タツヱ

▲中立國抗議提出に留む
歐洲各中立國は潜航艇戰開始宣言に關し獨逸に向つて抗議を提起せるに留まり國交は斷絶せずと（紐育電報）

▲和蘭各港灣封鎖さる
アムステルダム來電によれば和蘭の各港灣は政府の命により封鎖せられたり（紐育電報）

▲米船二隻無警告撃沈
米國汽船二隻は十日獨逸潜航艇の爲め無警告にて撃沈せられたり該汽船は獨逸指示の船體著色なきに依るものなり（紐育電報）

▲支那引入贊成か
聯合國の支那引入運動に關し帝國政府は贊意を表したりと傳へらる（東京電報）

連絡問題

▲關釜連絡船と天候の關係

仁川觀測所長 平田德太郎氏談

關釜間の連絡の天候の爲めに生ずる障害に就きては暴風警報を發する上から調べて置く必要があるので調査して見たことがあるが大正四年一箇年中に此期の航海を中止又は遲延せるもの六十五回であつて其の內風浪の爲め全然出航を取消したもの三十九回定期に遲れて出發又は到着したもの十五回

▲濃霧の爲に 出帆又は到着の遲れたるもの十二回で日數の上からは全體で四十二日である即ち一箇年に四十二日は天候の爲に本土と朝鮮の間の連絡に故障が生ずることゝなるのである此日數を天候の上から見て四種に區分し各月の統計を作つて見ると次の樣になる

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
一	八	三	三	―	―	―	―	―	―	―	―	三	一七
二	二	一	一	三	―	―	一	―	―	二	―	―	一〇
三	―	―	―	―	―	―	―	―	四	二	―	―	六
四	―	―	―	―	一	二	六	―	―	―	―	―	九

右の表の內(一)は冬季の北西風の非常に發達した場合(二)は低氣壓の通過せる場合(三)は猛烈なる颱風の海峽又は本邦西部方面を通過せる場合(四)は濃霧のある場合である

▲朝鮮海峽を 第一の强烈なる北西風は十二月より三月まで冬季間の故障の殆ど全部の原因となつて居るが此の風の出る場合の氣象狀態は極めて明瞭であつて同一方向の風が長く吹續するので從て波浪も高いであらう此の場合に暴風警報を出すことは容易である第二の低氣壓の通過する場合には低氣壓の比較的優勢なるに拘はらず連絡船に故障なきこともあり又左程のもので無くとも故障のあることもある之は船の大小に依るものであらう此の部類に屬する故障中

▲三千噸級の 高麗は僅に一回にして其他の九日は千六百噸級の壹岐對馬であつたのでも明かである此場合にも無論暴風警報を發するが警報が出て居つても三千噸級の船ならば大丈夫と云ふことになる第三の颱風に依るものは此年には僅に二回の颱風の通過の爲に其の前後六日間は連絡の支障を生じたのであつて其の猛烈さが分かる無論此の場合には

▲暴風警報も 發し且つ釜山埠頭には暴風雨標と稱する颱風の狀況を報ずる信號を揚げて船舶に知らしてある第四の濃霧の爲の故障は七月に最も盛にある濃霧の發生する氣象狀態の關係は從來の調査で餘程明らかになつたが何分海上の觀測點線が充分で無い爲に斯う云ふ時には海上は濃霧があるだらうと思ふても直ちに之を確める方法が無いので未だ充分なる確信を以て豫報するまでになつて居ないのは遺憾である尙注目すべきことは故障は冬は北西風の强い時夏は濃霧秋は颱風と云ふ樣になつて居るが之等の各

▲時季の中間 は海上は最も安全である例へば七月の濃霧季が過ぎて九月の颱風季に入る前の八月又は颱風季が過ぎて北西風の時季に入る前なる十一月は共に故障が一回も無かつた尙四五月頃も大きな故障ならば大抵は大丈夫であると云ふことになる

▼連絡船の運賃

朝鮮銀行釜山支店長 石井光雄氏談

關釜連絡船問題と一口に云へば只だ下の關、釜山との間の交通に關しての單純なる問題に過ぎない樣に聞ゆれども事實は決して然かく單純にあらず此の間の連絡問題は所謂歐亞連絡の問題でもあり亦た朝鮮開發の上に於て

▽非常な關係 あるものであるが技術上設備計畫上のことは其局に當る人に待たざれば言ふことが出來ないけれども連絡船を高麗新羅級より以上の大型船に改むると云ふことは衆人の希望してゐるところであらうと信ずる從來壹岐、對馬兩船でも別に貨客積載に不足を告げないと云ふ人があつても時世の推移は最早兩船の如き小型船は關釜連絡船として滿足し得ざる時運に到來した現に高麗新羅ならば默々航行し得べき風波も

▽壹岐對馬は 航行に堪へずとして度々缺航せるを見て立證することが出來るそれから自分が云ふより一般の人々の感じてゐるのは關釜連絡船の乘客運賃の高率な點で一等が往復二十圓二等が十二圓三等が六圓とは甚だ不當の如く思はる片道僅か十時間の航海に過ぎぬに斯かる高率の運賃は他の航路の運賃に比較の取れぬ高さではあるまいか一等客は相當身分資力あり兎も角もとして二、三等は

▽現在運賃の 半額位に減額せられたならば自然往復も容易となり朝鮮開發の爲利することも鮮少ならざるべしと考へられる、營利事業でない以上は現在の狀態より推算して運賃の引下げを見ることは敢て不可能であるまいかと思ふ彼の船內に於て食料を供するが如きは決して乘客の希望でない二十錢の辨當でも敢て不可ならず否乘客の多數は賃銀を廉くして二十錢の辨當を支給された方が悅ぶであらう尙參考の爲め鐵道院に於て經營し居れる

▽各連絡船の 運賃割合を左に示せば

△下の關、釜山間(實海里百二十海里營業海里百五十海里)一等十四圓、二等六圓、三等三圓(一海里二錢の割)
△靑森、函館間(實海里六十海里營業海里百海里)一等三圓、二等二圓、三等一圓(一海里一錢の割)
△下の關、門司間(實海里四海里營業海里十五海里)一等なし、二等二十錢、三等十五錢(一海里一錢五厘)
△宇野、高松間(實海里十海里營業海里十五海里)一等八十錢、二等五十錢、三等三十錢(一海里二錢)
△宮津、舞鶴間(實海里十二海里營業海里廿二海里)一等なし、二等五十錢、三等三十五錢(一海里一錢五厘の割)
△宮津灣內 九錢均一
△宮島、嚴島 六錢均一

●此頃出來る人蔘精 製造する時にこんな心掛が必要

總督府醫院藥劑課長 吉木藥學士談

近頃京城に人蔘エキスの製造者が雨後の筍の如くに簇生して來たツイ此の間まで五六ヶ所であつた製造所が此の一月末には十五六箇所に增加した製品の增加に連れて內地知人などからも何處で製造する人蔘エキスが一番良いかと

◆何ういふエキスを 買へば可いかといふやうな照會が絕えず來る其處で自分も人蔘エキスに關して種々の研究を始めた何にしろ製造者が非常に多いから其の研究も從つて手間取れ未だ研究の結果を發表するまでに成つて居らぬ人蔘が萬病に效能のある事は一般に傳へられて居るが如何なる主成分が病氣に對して效驗を持つて居るかと云ふ事は今日まで

◆歐米の學者又內地 の學者が分析して見ても判明しない自分の思ふには人蔘中に含有して居る或る主成分が分析の際に水、熱、アルコールと云ふやうな物の爲めに分解變化して終ふ爲めに分明せぬやうに成るのであらうと思はれる殊に人蔘が萬病に效能が有ると云ふ事であるから其の變化する成分も多種であらうと思はれる斯くの如く變化し易いと思はるゝ人蔘を加工してエキスを

◆製造して居るのだ からエキス製造には餘程注意を拂はないと其の效果を失ふやうなことが有りはしまいかと思はれる古來東洋で藥用として用ひられて來た草根木皮の中には臨牀上病氣に特效を有して居るものが少くないがさて其草根木皮を藥物學上調べて見ると差して效驗のある成分を見出し得ぬものが多い人蔘なども

◆其內の主なるもの であろうエキスはエキストラクトの略で摘出と稱し或る物體から或る必要の物質を摘出する事で其摘出した物質即ち精腦とか精とか精脂とか稱する物が有て其が病氣に顯著なる效果ある若し人蔘に精とか稱すものを有するとすれば其を摘出する際に細心の注意を拂つて高熱の煮沸或は浸出液蒸發の爲め其精腦又は精の

◆主成分の分解變化 を起さぬ樣に爲なければならぬ京城の市內で製造して居る人蔘エキスを研究して第一に思當つたのは浸出液を蒸發して濃厚にする場合に焦付く恐れが有るから釜は必ず二重に爲なければ成らぬと思ふ即ち湯を沸した釜の中に藥液を容れた釜を容れて直接火力を藥釜に當てぬやうに爲なければ成らぬそう爲ないと液が釜に焦付いて炭が出る、然うすると

◆エキスを水に溶解 する場合に完全溶解の沈澱物、浮游物など生じて來る又蒸發釜は鐵又は銅製のものを用ふると植物中に含んだ酸の爲めに銅、鐵との酸化物が出て矢張りエキスの中に不溶解物が生じて來るから釜は陶製又は錫鍍金したものを用ひる必要がある浸出液は元透明であるからエキスも亦適量の水に溶解した際に不溶解物沈澱物等の爲めに混濁して居るやうでは不可ない(未完)

●總督から時計を賞與

算數の天才安命煥君

臨時土地調査局製圖課に勤務せる安命煥は算數の天才にして昨年寺內前總督より賞金の授與を受けしが今回長谷川總督一行の土地調査局內巡視に際し圖らずも其の非凡の技能は總督の知る所となり特に時計一個を授與されたれば十三日午後土地調査局にて鈴木局長より傳達せりと

●大豹と格鬪して遂に撲殺す 三名の狩獵者三日間山間を搜索す

京畿道楊州郡楊東面附近の山間に日夜大豹現はれ農作物を荒す由を同郡の狩獵者三名が聞き込み去る八日同地の農民十數名を傭ひ山中に搜索を續行すること三日間に及び遂に十日午前十一時頃同村落を距る一里餘の山中に於て突然豹に出會せしより前記三名は一齊射擊を行ひたるに何れも命中せるも散彈の事とて北場に斃るゝに至らず該豹は充分勢力衰へたる樣子にて逃走せしより追跡する事約一里際にして岩石の突出せる山丘に到り三名は此處こそ充分警戒し接近したるに岩石の四所に於て件の大豹は小田が約五間の場所に近くや奮然として飛び附き來りたれば先づ小田は眞先に頭部を目掛て一擊を加へ續いて石井、大竹も力を盡して毆り付けし爲め流石猛獸も遂に其場に打倒れたりと該豹は體量約十三四貫餘の逸物なりと商(同)郡は目下京城に向け賣込み相談中也と

射殺せる大豹

●八百餘圓の煙

湖南線列車中の怪事

去る五日夜六時三十分湖南線長城驛發南行第百五十八號列車の發車前乘務車掌松崎某が同驛より受取りて木浦驛に送達すべき袋入八百五十圓の大金を車掌室の棚上に置き列車進行後室內に入り見たるに該金員は何時しか紛失せるを發見したり兎角するに中列車は林谷驛に到着したれば直に同驛長及び憲兵出張所に急報し乘客一同を取調べたる處判明せず同七時四十四分松汀里驛に着し此處に於ても乘客を取調べ嫌疑者一名を捉へ取調べたるも犯人にあらざる事判明し引續き各地警官憲兵に手配し犯人搜索中なりと

●恩給を種に詐欺

山口縣大島郡小松志佐村當時平壤若松町橋本宗一(四八)は元陸軍豫備軍人にして恩給六十圓を受け居る者なるが大正三年中京城永樂町二丁目陝江商會より該恩給證書を抵當とし金員を借受け更に自分の妻橋本アイが平壤にて下宿屋を開業するに當り東町山下菊次郎より該恩給を種に六十三圓五十三錢五厘の米代を踏み倒し其米の一部は他に賣却し乍ら仕拂をなさず又十一月中旬より一月末日迄の間に前記山下の名義を詐稱し黃金町薪炭商黑川商店へ電話にて炭薪數十回價格五十圓餘を騙取し尙五十二月廿八日黃海道黃州城內木下桃太郎より詐欺を働かんとしたるも木下より疑はれ目的を遂げざりしが此程平壤署の刑事に探知せられ取調中なるが尙其他にも犯罪ある見込なり

●埠頭で騙らる

慶南咸安郡內土木請負業日比野初次郎方岩田初次郎(?)は同地より鐵ボート小型五十四圓餘の品を朝鮮郵船に托し釜山へ送り出し後より來釜し上陸せんとせし際計らずも以前日比野方に出入し居たる岐阜縣生れ吉田倉吉(三一)に出會し初次郎は持參せし鐵ボートの貨物引換證を同人に渡したるに其後倉吉より何の沙汰無きより不思議に思ひ朝鮮郵船會社に問合せしに該品は去る十日引換證を持參せし本人に渡したりとのことに初次郎は大に驚き所々を探りたるに釜山西町三丁目古物商岸本重吉方の店頭に件の鐵ボートの有りしより買主を尋ねし結果岩田初次郎なる者より金二十圓五十錢にて買取り朝鮮郵船會社倉庫より引取りし事分り初次郎は釜山署へ橫領の告訴を爲したるも倉吉は何處にか逃走し所在不明なりと(釜山)

●吳服屋荒し

京城本町二丁目居住下市中坪井町生れの堀崎(?)(二九)は常習前科二犯ありて二月五日本町二丁目山口吳服店に至り同家の得意先なる明治町の長崎屋の名義を騙り用して反物四點(二十一圓餘)を騙取し同月七日には本町二丁目三浦時計店よりも他人の名義を以て時計、輪寶百七十餘圓のものを騙取して逃走し一部は入質し殘部は所持し居たる所を本町署の刑事に探知せられ引致取調べの上檢事局へ送らる

●チーハ開帳

釜山草梁洞具而汝水事金重在(四三)は一月廿五日よりチーハを開帳し胴元となり瀛州洞金某住所不定金士俊(六〇)其他數名を運送人と爲し本月六日迄に二十四回開帳したるを釜山署刑事が發見し一同取押へ金重在は胴元として金士俊は前科ある爲め十二日檢事局に押送せられ其他は訓戒の上一先づ放免したりと(釜山)

灯ともしび

▲近來間島では頻りに子供が產れる現在龍井村だけでも四十數名を算し此勢で猛進するときは素破らしく間島ツ兒が多くなる譯だ▲間島ツ兒の先發隊は既に昨年學齡期に達しておるが益々後續部隊が殖ゑて行くのは新婦が多いからだといふものがある▲そしてその生れるのが妙に女兒が多いといふのはこれは氣候の所爲でないかと研究してる人がある

●鍰つた泥棒

高陽郡崇仁面城北洞金明福(三二)は十二月三日京城北洞李照寬方に行き同人の不在に乘じたるより同家の掛物、食器一個(一圓)を窃取逃走せしも鍾路署に引致さる

●警官大埠島へ

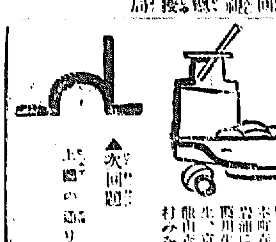
仁川警察署中川警部以下數名の警官は十三日午前大埠島に向け出張したるが其の近海航船が長の談に依ればこれは大豆其他を滿載した一艘の渡船が同島に著したる際島民寄つて積載貨物を掠奪したる事件の爲めなる可しと同部以下は十三日歸仁の筈なり(仁川)

●連絡船延著と郵便物

十二日午後九時四十分定時入港の連絡船對馬丸は下の關出港二時間餘遲延し且つ玄海灘は風浪劇しき爲め定時入港する能はず十三日午前三時頃釜山に著港すべき豫定なる旨同船より釜山連絡事務所に無線電信ありたるを以て郵便物及び乘客は十二日午後急行列車に接續せず(釜山特電)

讀者文藝(一等には五十錢相當の賞品を呈す)

▽詰め謡
○お伽(一等) 龍山漢江通十一 佐藤眞子
▲選外佳作 京城應田としを、龍山浦武良ふみ子、本町森本藤二郎、京城岩浦にしき、京城西川生、釜山山猫生、京城南大門生、龍山森田、仁川山村みな



▲次回題 上圖の通り

▲愛婦會に寄金

總督府視學〔以下判讀困難〕

一家族の不在中一人の男が戶口の鍵前は慣て知る者の仕業にて稻垣が人夫の〔以下判讀困難〕

課題及募集規定

(讀者文藝)

▲募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は〔以下判讀困難〕

天氣 晴れ

口演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三
○二月九日より新寫眞提供 ○活動寫眞 ○天然色寫眞 ○新派悲劇「花風」 ○新派喜劇「粗忽な婚」 ▲尾上松之助一派出演 全十八卷

浪花館 明治町 電話二六〇
大阪親友派浪界之別格竹川馬生再演 △義士銘々傳 △灘波戰記 △名人小刀 △義烈百傑

黃金館 電話二六三七 早川直營
▲二月八日より ▲天然色活動寫眞 ▲新派大悲劇 ▲舊劇 ▲喜劇 ▲實寫

壽座 京城壽町 電話五七八番
狂言 蝶千鳥曾我物語り 十番切まで

御成座 電話二九一 中村梅昇一行

商業登記公告

京城建物株式會社ハ大正六年壹月東京建物株式會社ノ左ノ如ク變更シタリ……
大正六年貳月八日登記
京城地方法院

商業登記公告(變更)

大正六年壹月……結果左記者當選就任……
右大正六年貳月拾日登記
京城地方法院平澤出張所

社員退社廣告

京城支社詰 記者 岡野長太郎
同 同 杉山宗作
同 廣告募集員 池端健二郎
同 同 藤中虎吉
同 同 若林秀造
右都合に依り退社致候間此段御承知相成度候也
大正六年二月 湖南日報社

生徒募集廣告

本科第一學年生徒約百名
京城地方法院
大正六年二月十一日
平壤高等普通學校

恩給年金 立替即時
京城黃金町三ノ三四四
朝筑社
(永樂町通花本洋服店奧)

胃腸最新藥 ゲチスン
常用すれば血液を增し精力を盛んにす
東京本町 藥種問屋 合資會社 圓城商店

◉趙子爵母堂 昇躋の壽筵

子爵趙重應氏母堂は今年七十九歳の高齢に達したるを以て十三日の誕辰をトし家族近親知友數十人を招待し黄土峴明月館に於て昇躋の壽筵を開けり從來朝鮮に於ては七十一歳の望八の賀筵並に七十九歳の昇躋筵は人生最大慶事として數百數千の費用を投じて盛なる賀筵を開くの風習なるが民智の啓發、風俗の改良の率先者たる子爵は萬事質素を旨とし徒らに形式に流るゝ弊風を打破し精神的に慶祝の風を涵養すべく母堂の誕辰に際して之が範を示したるものなりと

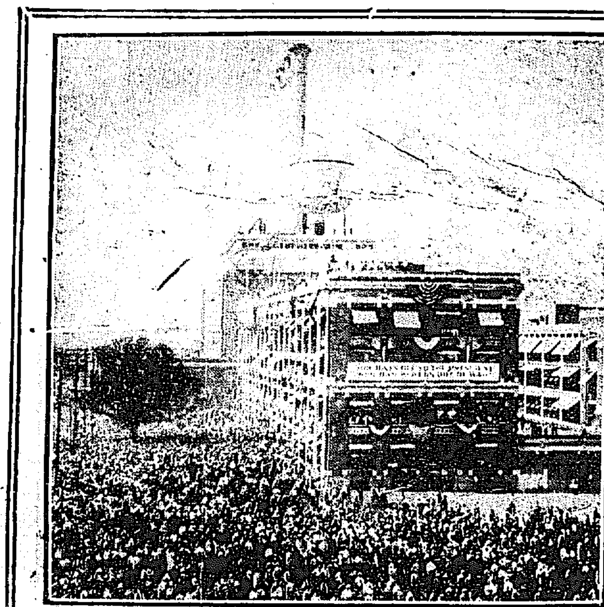
◉感ずべき貞婦

▽股の肉を切つて ▽病める夫に勸む

忠清南道公州郡長岐面壯岩里に住む李順禮と云ふ婦人は明治三十四年三月頃其の夫崔基淳が病魔に襲はれたので一日も早く夫の病氣の全癒せんことを祈つて百方良藥を求め專心看護に努めたるも其の効は少しも見えず二年間夫の崔基淳は病床に苦しんだ揚句三十六年四月の初旬に至りて病勢益々募り殆んど死に瀕し

▲幾多の鮮醫 も治療の方法なしと見限り投藥するものさへ無きに至つた然るに或る醫者が人の肉を服用せしむれば或は全治するやも計り難しと云つたので李順禮は深く其の言を信じて或る夜自分の右内股の肉を切り取つて夫に服用せしめた然るに不思議にも一時危かりし夫の病は漸次快方に向ひ遂に全治するに至つた、而して其の後何等の事なく八年間は無事に暮したが又復四十四年の六月に夫の崔は前

▲同樣の病氣 に罹り危篤に陷つた依て妻の李順禮は今度は左の内股の肉を切り取て夫に服用せしめた處が亦も不思議に全癒して三年間は無事に暮す事が出來た然るに大正三年二月頃又復三回目に發病した今度は事急速を要したる爲め左の無名指を斧で切斷して服用せしめた處が一時快復したるも同年十二月十四日遂に最愛の妻と三子を殘して黄泉の客となつた夫死亡後の李順禮は長男(十二)次男(十)長女(七)の三子を養育し田六斗落畑三斗落を耕作して獨立生計を營みつゝあるが附近の里民は其の貞節なる行爲を感じ稀なる節婦なりと賞揚してゐる(公州)



◇潜航艇一千隻 を毎日作つて差上げますと米國大統領に申し出でた米國自動車王フォード氏の自動車製造會社の光景

◉妊婦の養生は今が一番肝要な時節

寒い間の妊婦の攝生は餘程大事ですが、殊に感冒などを引易い此頃のやうな

◆空氣の 乾燥した時候では一層注意が肝要であります。それ故妊婦は成るべく身體を暖かにして居らねばなりませんが、それには胸や

◆腹部を 窮屈にせぬ樣に帶紐なども堅く締めない方が宜しい。又岩田帶は柔かな白木綿か餘り厚くないフランネルが良い。そして

◆冷える 事は禁物でありますから夜分の入浴はなるべく就寝前に行つて、身體の温みで眠く眠る樣にするのがよいのであります。それから寒さが

◆強い間 は散歩も思ふ樣に出來ないから、その代り家の掃除や臺所の仕事は四肢を動かす上に適度の運動になりますから、自分で

◆家事を 取り行ふが宜しい、といつて非常に重いものを持つたり遠道を歩く事は宜敷ありませんから

◆旅行も 十時間以内ならば汽車に搖られても構ひませんが、それ以上はなるべく控へた方がよい。不注意の爲に起る流産や早産は多くか(が)う云ふ樣な事が

◆原因に なります。其危險な時期は大抵妊娠後四箇月間と終りの二箇月とであります又此頃は食物が一體に濃厚なもの〻消りで姙婦の體質に依つては隨分身體に合ない

◆食物が あるものですから、其々醫師や産婆の命によつて氣を付けたらよろしいでせう。

◉黄海道の山奥で生擒つた羚羊

▲食料は毎日小豆一升宛

羚羊とは俗に『やまやぎ』と稱するもので内地の『あほしか』の一種であるが朝鮮では江原道及び黄海道咸鏡南道、平安南道等各道界の山奥で重に獲れる動物である其の毛皮は誰でも知つて居るが何うして生活して居るかと云ふ事は殆んど知る人がない殊に外國ではあまり棲息せぬから一層珍らしがつて居る、全世界の動物園で羚羊の飼養されて居る所は英國の帝室動物園だけであるさうだ

▲本年一月二日黄海道谷山郡上圖面の岩山でこの珍らしい羚羊を生捕たので早速大同里憲兵派遣所に收容したが偶ゝ山邑内の獸醫吉田雄次郎氏(黄海道畜産技手)が間もなく讓り受け目下愛養してこの頃は食物にも馴れて一日に小豆を一升許りぺろりとやつて知らぬ顏をして居る、然し馴れたとは云ふものゝ時々氣を損して野獸性を發揮し奧さんや令孃を突き飛ばして大騒ぎを演ずる事がある、羚羊は無論羊に似て居るが一寸熊の樣な形態をして毛は鼠で脊に黑線が立派に現はれ腹部等は稍白く珍らしい角を振り立てゝ居る、態の見物に來る人が今でも絶えぬさうである(谷山特信)

神社とお寺と教會

○西本願寺(若草町) 十四日午後一時より婦人會例會あり

○東本願寺(南山町) 十四日午後一時より婦人會新年總會ありて餘興として浪花節義太夫等あり翁は居士[illegible]の讀經ある由

○曹洞宗別院(若草町) 十四日午後七時より涅槃忌の御逮夜說教あり

(右端欄) [illegible] 十三日稱指揮次郎方へ [illegible] 同人は長崎 [illegible] 町巡査派出所に引渡したりと(釜山) [illegible] 京城冷洞村 [illegible]

◉連絡船上陸客 十二日午前十時二十分釜山入港高麗丸 二[illegible]

商況

◉公債直取引(京城)

十三日 五分利 九五、一〇 九五、一〇

深川在米特電

十二日現在高 [illegible]

東京期米特電

十三日前場 [illegible]

大阪三品特電

十三日前場 四月限 [illegible]

大阪期米特電

十三日前場 [illegible]

下關期米特電

十三日前場 [illegible]

雜報

◉綿糸布持合ひ 綿糸二十錢高 米糸綿布 [illegible]

◉底革益々軟調 [illegible]

◉哈爾賓輸出中絶 [illegible] 形勢更に非

◉纏口の處分途 [illegible] 輸入米國底皮の [illegible]

方の暴落 既に二十圓 [illegible] 眼先尚一押 [illegible]

回復さる事遠し 再び同地輸出の [illegible]

値段に買望 重目の相當 [illegible]

◉生鯟續いて廻著 [illegible] 元山物大形三十八圓釜山物 [illegible]

◉綿糸布界趨勢 [illegible] 二十八九圓 [illegible] 釜山乘りの三十圓を報じ居れり

(日) 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 まるにち 電話二二八・二三番

◉雜貨類漸次強硬 [illegible] 其の勢力增 [illegible] 多事 内地產之に代る物 [illegible] 賣行き良好 [illegible]

◉鰹 [illegible] 一同に八十錢 値上 [illegible] 全く小錦の品切 [illegible]

◉朝鮮雜貨賣行 [illegible] 約一二三割の增加 金物、鏡 [illegible] 騰貴 紙文具の類 [illegible]

◉種子種苗好況 [illegible] 移出も又著しく增加 [illegible]

大五仲買店 仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電三〇九 長九一二

◉内地作柄不良にて [illegible] 概して値段騰貴 [illegible]

◉種子移出は蔬菜白菜 穀物は長端端川の大豆 果實は栗の類 [illegible]

◉粉米弗々移出 [illegible]

◉白酒は騰貴 [illegible] 大瓶一圓小瓶五十錢高値 [illegible]

京城正米

[illegible]

京城雜穀

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

仁川穀物市場 十二日

[illegible]

生魚市場

京城水産市場

[illegible]

釜山水産市場

入船數六十七艘 ▲タイ二十九圓 ▲ヒラメ十三圓 ▲タゴ八圓 ▲サワラ二十七圓 ▲アナゴ四十五圓 ▲雜魚七圓 ▲ブリ十四圓 ▲イワシ八圓〇七錢 ▲水上高千四百二 [illegible]

仁川期米

▲十三日前場 大阪天候 晴天

前寄十五圓八十七錢 昨止より一錢安の入電 二節八十九錢 [illegible]

大阪五節八十一 [illegible] 錢と安移り [illegible]

市場零聞

◉依然保合ひ [illegible] 保合の折柄大阪の [illegible] 又復氣迷ひ [illegible] 前場の手振 [illegible] 跡安を受け [illegible]

▲①能く賣る [illegible] ▲④能く買ふ [illegible] ▲又復氣迷ひ [illegible]

▲期米強弱觀 [illegible] ▲解氷後は又復 出穀旺盛 [illegible] 目標とし大買据 [illegible] 正米の下げ [illegible] 非の外なからん [illegible] 内地に準據 [illegible] 方面の需用地へ供給 精白米として各 [illegible]

仁川米豆取引所

十三日の四月限

	前場
寄付	十二圓七十九錢
止め	十二圓七十七錢
高値	十二圓八十一錢
安値	十二圓七十七錢
出來高	八千七百石
平均値段 一節	十二圓八十錢
二節	十二圓八十一錢
三節	十二圓八十錢
四節	十二圓七十九錢
五節	十二圓七十八錢

月やく なきにお困りの方は郵券參錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす 京城黄金町三丁目 山田しづゑ

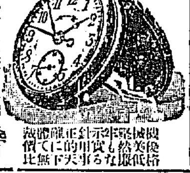
模範 牛乳 ニウソ 石鹸 洗粉 販賣主 獸醫 肥塚正太 京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話五二番

機械的製作 新形セメント式 東京 竹内製金庫 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五、二七七 振替京城二五六

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四番 内科 小兒科 入院隨意 每日五名を限り無料施療す 醫學博士 古城憲治 醫學士 上野亮藏

石炭 明治町 村山商行 電話 [illegible]

新荷著 懷中時計 [illegible]



[illegible] 右は今回新著の商品にて [illegible] 本店 京城本町二丁目 電話九七二番 イングレッシー商會

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 酒井婦人病院 入院隨意 電話二六〇・一〇八番

胃腸病と其療法

村井弦齋先生發見

人の胃腸は假令ばゴム袋の樣なもので平素は緊つて居ますが、食物が這入ると幾位でも伸びて膨れ食物が胃腸に在る間は絶えず伸びては縮み縮みては又伸び、所謂蠕動を起して食物を消化し又それを下に送るのです然るに餘り胃腸を使ひ過すと其筋が衰弱して伸び縮む力が弱くなります、之が醫者のアトニーと名ける病氣で胃腸に食物が滯り胸が膨れ腹が張り重苦しく心惡く嘔氣を起し瓦斯が溜りゲープが出て腹が鳴り筋張り痛みが起り食物が減じ又は反て進み、便秘となり下痢となり其他色々の病狀を惹起します、此病氣が重くなると胃は布袋の樣に擴がつたまゝ緊まる力が無くなり、幾日分も食物が胃に滯積します、之が醫者の申す胃擴張で胃腸が惡いと兎角此胃擴張が併發するもので胃癌なども根になつて居ます何しろ胃筋が衰弱したのですから如何なる名醫も根治の道がないのです然るに村井弦齋先生發見のタラコンは胃腸の筋を引締め消化作用を助け輸送機能を活潑にしますから、食物が胃に停滯しません、其證據は胃を洗滌すれば明かに實見する事が出來て胃腸のアトニー胃擴張に有効なるばかりでなくタラの一種峻烈なる刺戟は胃腸に生じた癌腫の如き異性物を溶解しますから胃癌胃潰瘍其他如何なる胃腸病にも靈驗卓効あること幾千の實驗者に依て證明せられて居ます、昔は之を服すれば子を有する二十人壽を得ること三百歳と稱し金氣補精の靈藥としたのであります、●藥價タラコン湯一週間分一圓送料六錢二週間分一圓九十錢送料卅錢タラコン散二十八回分入五十錢六十回分入一圓送料四錢 ●發賣本舖東京市小石川區下富坂町二〇 [illegible] (電話番町四一三八振替東京一〇〇二)

小兒齒科 口腔衛生科 齒列矯正科 京城府龍山榮町 龍山齒科醫院 電話五五五番

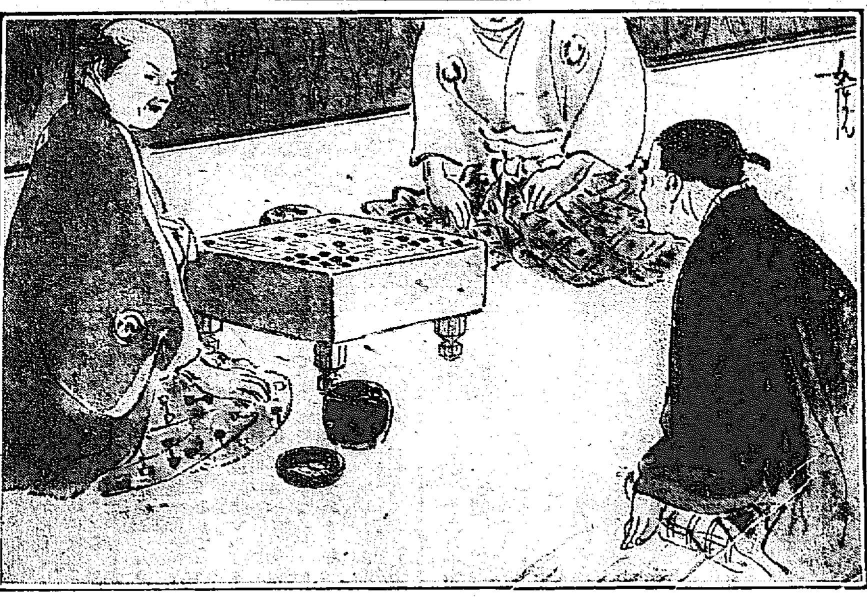
來る十五日より 雛人形大賣出し 階上に種々陳列致居候間御隨意御觀覽被下度候 京城本町 夏川小間物店 電話一二八五番

内科小兒科 入院隨意(普通病室並に隔離病室) 京城旭町一丁目 小林醫院 醫學士 小林千壽 電話六九二番

明君道中記

第五十七席　田邊南龍口演

朝倉筑前守は泰庵を呼入れまして、筑『イヤ何に其方が泰庵と申すか』泰『御意にございます、手前が城下に住居まする泰庵でございます』筑『只今取次の者より承はつたが其方前夜當家へ參つて伜の治療をいたして戻つたと申すことであるが、身共には伜は無い、是は何ぞの間違ひであらう』泰『御言葉ではございますが決して僞りは申しません、確に御當家へ上つて若樣にお藥を差上げましたに相違ございません、加之お座敷は此の御居室で、床の間から御襖に至るまで見覺えて居ります』筑『然ういふても伜は無い故間違ひに相違ない』と云つて居るを傍に最前より聞いて居りましたは圍碁の相手をして居た加治木源右衞門『御家老決して僞りではございますまい、それに就て手前少々心當りがございまする』筑『ウン』源『實は手前先達小者を伴れまして安養寺山へ狩に參りましたる處、豫て彼處には白猿が棲で居ると承はり討取つてくれやうと存じまして蒐廻りました處、遙か向ふに眞白な物が見えました故是こそ其の猿と心得て一と矢射かけましたが、確に股の邊を射拔いたと思ひました、然し殘念ながら其の怪物は取逃しましたが、實に不思議な猿でございます、故此の泰庵を引出して御家老の御屋敷と見せかけて傷の療治をいたさせたものと心得ますが、如何でございませうか』筑『成程それは然うかも知れん、然て見ると泰庵は化されて居つたのであるな』源『それに相違ございません、さすれば泰庵が申す處は僞りではございますまい』筑『それを承はつて事情は相判つた』源『泰庵其方は猿に化されたのである』泰『へエ―左樣でございますかな、何うも手前は此方樣と思つて居りました』筑『然し泰庵、其方は感心な者じや、貧困の者には施療をいたし專ら人を助けるとのこと、醫は仁術と申す故斯くありたきもの、當家へ召抱へたく存ずるが何うじや』泰『有難くは存じまするが御當家にもお抱醫者がございませうから手前は御辭退をいたします』筑『然らば出入をいたしてくれイ』泰『お出入とございますれば有難くお受をいたします、是迄通り町住居にて時々御伺ひに出ますれば前々よりお抱に相成つて居りまする御醫師方の妨げにも相成りますまいから』と申し上げたので筑前守も感心いたしまして茲で扶持を取らして御出入といふことに相成りました、然うすると只今までとは違つて家も新に普請をいたし、萬事以前とは樣子も變つて參りまする、是は皆加治木源右衞門が取計ひましたのでございますから泰庵も加治木の厚意を喜んで居ります、所が此の泰庵の娘におゆりと云つて當年十八歲になる古今の美人、天人が天下つたか觀音菩薩が假に人間になつたかと思ふ樣な容貌、近所の人々は此の娘のことを迷水小町天人娘と云つて評判をいたしまする位、殊に內氣にして世辭も宜く愛嬌がございますから人々も賞めて居りまする、處が此の加治木源右衞門は此の娘に執心をして參る度每に何か娘の氣に叶ふ物を持つて參り機嫌を取る、おゆりも此の人の爲に父泰庵が朝倉家へ出入となつたのであるから決して粗末にはいたしません、宜い加減に待遇ては歸す、源右衞門は何分にも思ひ堪へたものと見ねて、或日來つて泰庵に對ひ　源『偖泰庵、今日參つたは他事では無いが貴老に少々賴みたいことがあるが聞いてはくれまいか』泰『事改まつたる其のお言葉より貴下は私の爲には恩人身に叶ひまする事ならば何なりともお受けをいたしませう』源『然らば聞き濟んでくれると申すか』と膝を進めました。



婦人科 產科　二宮醫院　京城壽町四一　醫學士 二宮亮吉　電話一三〇一番

ほんに名物 木村屋パンと うまいドロップありがとう　（京城明治町 電話一六七〇）

愈々寒さ來れり　冷性で御困りの御方は―　津村本店の　人參エキスを　御存知無き御方でしよう　京城本町一 電話一四八〇 振替三五一一　津村兄弟商會本店

二月十五日　九星　舊正月廿四日　戊子　本命 四綠 雲閉 赤口

▲四綠 胡蝶化爲の事有る日新事見合北方は吉 旅行移轉等凶▲五黃 氣に喰はぬ事有る日新事手控宜 爭ひ譲るべし▲六白 不開の日と雖も新規控目の方吉 裁判訴訟は妨なし▲七赤 女難おとしもの用心の日新事手控宜 土工は妨げなし▲八白 差引不足の事有る日 新事手控宜 事は吉 新取引は用心せらるべし▲九紫 大望叶ふ日轉居旅行入學金談 出資名弘建築婚禮 萬吉▲一白 めでたき日轉居開業皆吉 女子の望外の立身を爲す 願ろ希望の日也▲二黑 宮遷ひの事有る日諸付て新事手控 宿の事は吉▲三碧 利財の日轉居行 商入門 名弘求 職金談等 縁組 萬吉

寫眞銅版、亞鉛凸版　寫眞撮影、コロタイプ印刷　京城太平町 電話六六〇番（構內電話十二番）　京城日報社 寫眞製版部

產前さん後子宮病ぢの道れ藥　登錄商標
清婦湯
效能（警視廳許可）月經不調、子宮內膜炎、實質炎 こしけ、僂麻質斯、痔痛、惡阻 產褥遲延、疝痛、感冒 ヒステリー（血の道）神經性心悸亢進
說明 月經調はず、子宮病、白血、長血、すん白、こしけ、產前產後つわり、引風、逆上、頭痛、眩暈、息切、動悸強く、手足しびれ、下腹手足の引きつり痛みむくみ、足腰の冷え、氣鬱ぎ涙出で、根氣薄く、心身疲れだるく、癇癪ぶり、物事氣に掛り考へ込み、寢つき惡しき等、其他血の道の容體一切に効あり
一週間分金七十錢　三日分金廿錢　一日分金四十五錢
本舖 東京日本橋區元大坂町 髙木與兵衞 振替口座東京四六八番 電話浪花六七〇番

ラヂウム貼付劑　痔疾、切傷、火傷、凍傷に効あり　定價廿錢、卅錢、五十錢、送料二錢　發賣元 東京新宿 大平商會

家庭溫泉原料　諸大家實驗證明　到處各藥店にあり　特約販賣希望の方は申込あれ

毛布進呈　五百組限り 紀念として無代進呈す　◎駱毛布二枚續き ◎茶毛布二枚續き ◎白毛布二枚續き　三圓九十錢　鶴屋毛布店

りん病　淋病の人自宅で安全秘密に人知れず治す良藥あり　彼是と他の療法に迷はず一日も早く申込あれ　此の藥は其良藥也　自宅治療の詳細手引三錢送れ　名古屋市南かじや町 武藤龜吉

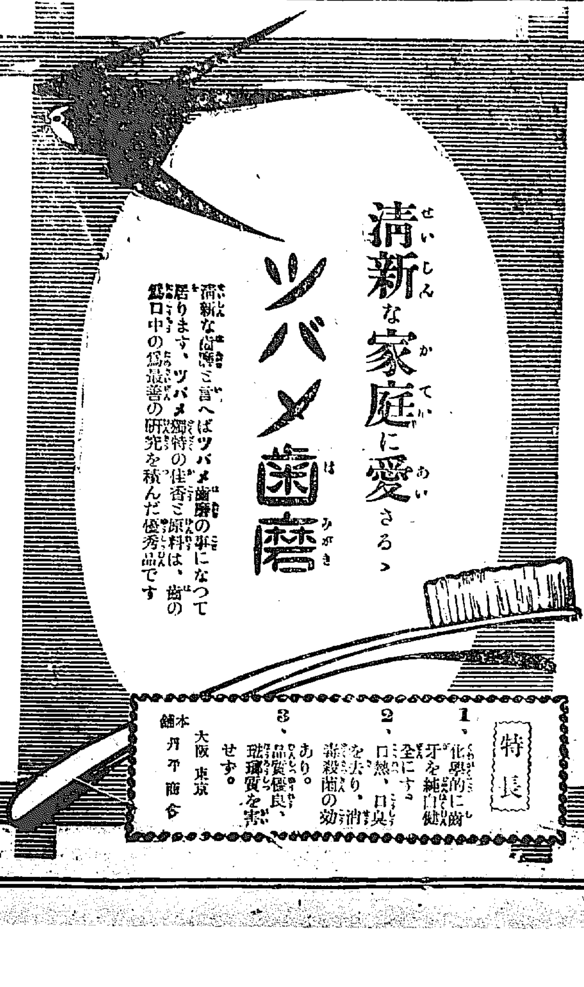
御德用堅新　カマド。オンドロ ストーフ用　本月中十貫目に付 金三十錢　外に配達賃 五十貫以下 五錢　百貫 十錢　京城南米倉町九十三番地 佐藤平治　京城本町四丁目櫻井町入口 安新販賣所

花柳病 外科專門　梅毒 淋病 ……　京城長谷川町南大門通 司生堂醫院

色の黑い人はない筈　無代進呈　東京市麻布區ダンス町六番地　三協製藥所

著しく胃を爽快にする　强胃消化錠 マーゲン　大阪上本町九丁目 保藥房　特約店 京城南大門通二 新井藥房

東京で一番よく賣れる美人となる化粧料は ホーカー液
本品は長く宮內省御買上の光榮を有し衛生的にて名譽金牌を受領し到る處の信用ある、小間物店雜貨店にて一番よく賣れる美人劑なり



清新な家庭に愛さるゝ ツバメ齒磨
清新な齒磨と言へばツバメ齒磨の事になつて居ります、ツバメ獨特の佳香と原料は、齒の衛生口中の爲最善の研究を積んだ優秀品です
特長 1、化學的に齒牙を純白に健全にす。2、口熱、口臭を去り、消毒殺菌の効あり。3、品質優良、琺瑯質を害せず。
本舖 大阪 東京 丹平商會

クラブ白粉
貴婦人令孃のお好み
淑女式お化粧の順序
クラブ洗粉 石鹼よりも牛乳よりも遙に有効な
クラブ美身ゼリー 皮膚の美を養ふ化粧下
クラブ白粉 生地まで白くなる
白粉を延ばす
白粉を均らす
白粉を落付る
クラブ頰紅 ホンノリさ櫻色にする
クラブ粉白粉 お化粧を引立てる
美人
生地まで白くなる クラブ白粉
附けて高尙で非常に美しく洗た後の生地の色までも白くなるはクラブ白粉の大なる特長なり

[illegible]

京城日報 第三版
二月十四日 (夕刊ど合せて八頁)
下關期米特電

京城日報 皇室中心論(二)

政黨國の非政黨政治

英國は立憲政治の祖國也。政黨政治の本舞也。黨首中心主義の先進國也。主權は國會と元首とに在りとする所の國也。元首は御して治めざる主義を守る所の國也。元首は垂拱成を國會に仰ぐ所の國也。而かも歐洲大戰以來、二年有半の今日に於ける英國の狀態は果して如何。

アスキスに代り、ロイド、ヂョーヂに由りて組織せられたる內閣は、統一黨十五名、自由黨十二名、勞働黨三名、大臣席を占め、別に政治に關係せざるものより三名の大臣を採用せりと雖も、其の內閣の中樞は、首相ロイド、ヂョーヂ、樞密院議長兼上院首領カーゾン、大藏大臣兼下院首領ボナー、ロー、無任所大臣ヘンダーソン、ミルナーの五名に過ぎずして、其他は其の所管行政事務を擔當するに止まるにあらずや。其の首相は自由黨に屬するを以て自由黨內閣と云はん乎、而かも其の內閣の中樞を占むるものは統一黨也。然らば則ち之を統一黨內閣と云はん乎、而かも其の閣員には勞働黨の政治家亦之に列せり。是に由りて之を觀れば、ロイド、ヂョーヂの內閣は自由黨內閣に似て自由黨內閣に非ず。統一黨內閣に似て統一黨內閣に非ず。政黨に超越せる擧國一致の軍國的內閣と稱する、敢て過言に非ざるべし。

其れ英國は、第十九世紀以來、政黨政治を本領とせる國也。政黨政治に沒頭して他あるを知らざる國民也。國に大事あるも、從來政黨政治の特色を幟せざりし國民也。然るに、今やロイド、ジョーヂが鐵腕を揮て從來の傳說的政策を打破し、政黨的色彩を徹底にし、擧國一致の軍國的內閣を組織するに當り、前首相アスキスが自由黨を率ゐて此の內閣を擁護すべきを聲明し、何れの政黨機關紙も皆此の內閣を歡迎するに一致し、萬口一致、之を以て國民的內閣の實現と爲せる所以のものは、何ぞや。是れ豈に國家大事あるの日に於て、政黨政治を必要とせず、國民的內閣を必要とする所以を立證するものにあらずや。

豈に啻に英國のみならんや。佛國に於ても英國に倣ひて內閣を改造し、二十二名の大臣に由りて組織せられたる內閣員の大更迭を斷行して十名と爲し、其の中樞は首相兼外務大臣アリスチード、ブリアン、大藏大臣リボー、陸軍大臣リオーテー、海軍大臣ラカーズ、兵器大臣アルベール、トーマの五名を以て之を組織し、佛軍總指揮官ジョッフル將軍、政府の許に在りて戰爭の方針に就き、專門顧問と爲れるもの、其の政體は依然として『デモクラシー』なりと雖も、其の內容は英國と同じく軍國的內閣の色彩を帶びつゝあるにあらずや。內閣中樞の五名中、三名は政黨出身の政治家なりと雖も、其の二名は軍人にして、外にジョッフル將軍の顧問として軍權に參畫するもの、非政黨政治と云はんよりも、寧ろ武斷主義に近き軍國的內閣にあらずや。政黨政治の本舞たる英國にして此の如く、民主主義の先進たる佛國にして既に彼が如し。是れ豈に英佛諸國民が政黨政治の舊式を墨守せざる著なる實例にあらずして何ぞや。

支那の對獨關係

東洋今後の大勢

山晄生

支那が獨逸に對し米國と同一の行動を執るに決定したるは、東洋の大勢に輕視すべからざる關係を及ぼすべく思はる。米獨の關係は目下國交斷絕に止ると雖も、總ての事情はやがて兩國を開戰に導くであらう。然る時は支那も亦獨逸に向ひて、開戰を宣言せざるを得ざるに至るべく、即ち實際は兎も角形式に於て聯合軍側に立つことゝなるのである。玆に於て戰後の平和會議に於て、支那も亦當然發言權を得ることゝなり、從て青島の處分問題に付て、我國にとりては新に一の面倒なる分子を加ふることゝなるのである。我政治家外交官等は今より此問題に付きて熟慮すべきである。

支那が獨逸と開戰するとして、兵力を以ても又物質を以ても、聯合軍側に殆ど何等の助力を與へ能はざるは多言を須たず。それにも拘はらず英國はこれ迄支那が聯合軍側に加はることを希望し、モリソン、シムプソン、ヂャイルス等支那人間に勢力を有する英人はこれが爲めに熱心に運動する所があつた。その故如何にといふに、飽く迄獨逸人を苦むると共に、近年大に發展したる獨人の支那に於ける商業經濟上の勢力を亡ぼし、猶上海其他に於ける獨逸人の印度に對する陰謀を根絕するを願ふからである。然しながら支那には[illegible]を始め獨逸崇拜の者少なからざる上に、駐支公使ヒンツェが辣腕は、支那政府及び人民の間に獨逸に對する畏敬の念を强からしめ、以てよく英人等の運動を阻止せしめたのであつた。然るに今や米國が獨逸との外交關係を斷絕し、支那に向ひて行動を共にすべきを勸告するや、流石のヒンツェの妨害運動も効無く、遂に支那をして聯合軍側に趨らしめたのである。英國の滿足察すべしである。

支那にとりては獨逸との開戰は、將來はいざ知らず、差當り金錢上少なからざる利益がある。支那は義和團事件の賠償として、獨逸に對し一億三千五百萬元、墺匈國に對して六百萬元を拂はねばならぬ義務がある。開戰の場合には之を取消すことが出來るのみならず、鐵道其他の借款により獨逸に拂はねばならぬ利子(一日六萬圓に當る)を差押へることが出來る。財政困難なる今日に於て、斯の如きは支那にとりては願ふ所有き仕合せである。那推かは知らねど、支那が獨逸を恐れながらも、米國と行動を共にするに決心したるは、一部こゝに著眼する所があつたのであらう。

敵ながらも氣の毒なるは在支獨逸人の今後である。ヒンツェ始め獨逸の外交官其他政府に關係ある獨逸人は、從來其活動の用意を義和團事件の償金等に求めて居たが、[illegible]支那政府が開戰の後は、彼等は遂に糊口にも窮する所あらう。其上に退去するにも行く處が無い。

米國と支那との關係は同舟の道に從ふより、今後益々密接となり、支那の米國に信賴するの念は愈々强くなるであらう。我國にとりては此兩國の關係の斯くなり行くを、猜疑の眼を以てすれば嫉視すべきが如くなれど、心を廣くして考ふれば慶賀して可なりと思はる。何となれば列國の中、米國の如く支那の領土に對して野心無きはなく、其求むる所は一に經濟上の發展に在りて、我國の對支政策と衝突するなく、且つ近來日米提攜して支那富源の開發に資するの議論[illegible]く、其議論に熱せんとしつゝあることなれば、我國は進んで米支關係の進步に助くる所ありて可なりと思はる。寺內內閣の成立以來日支の關係は大に改善されたりと雖も、支那人の我を疑ふの念猶依然たる深きものがある。彼等の疑惧を一掃するが爲めに、此際米支の關係に水を差すが如き小策を執らず、誠意と友誼を以て兩國の行動を贊助するを賢なりとせん。

「大正の青年と帝國の前途」を讀む (三十六)

大谷光瑞

(大正五年十二月十二日上海に於て)

昔伍員吳の越に備へず、擧國輕佻せるを慨し、君を諫め、身既に讒せらる。彼死に臨で曰く、必ず吾墓上に樹つるに梓を以てせよ、以て器(棺材を指せる)と爲すべし、而して我眼を抉して、吳の東門の上に懸けよ、以て越寇の來て、吳を滅するを觀るなりと。乃ち自殺す、吳王之を聞き、大に怒て尸を盛るに鴟夷の革を以てし、之を江中に浮ぶ、即ち墓木を植ゑしめず、眼を懸けしめざるの罰なり。伍員死後十二年、越終に吳を滅し、吳王自殺す。今是を云ふは不祥なり。然れども現狀の如くば、不肖亦伍員の言を踵なりと爲す能はず。我帝國に敵人の襲來を防ぐ能はず、不肖を目して不恭となすは可なり、不遜となすは可なり、重罪と斷ずるも可なり、狂人と爲すも可なり、事實は如何ともすべからず、鴟夷革と、江水を以て越寇を遏むる能はざるなり、不肖敢て慷慨の言を唱へ、自から高しとするに非ず、世を罵て自から賢なりとするに非ず、不肖の如きは、放浪流落の身なり、賓たるも用なし、高しとするも貴しとせず、幸に衣食に凍餒せず、殘年を終らば可なり。然れども常に海外に放浪し、我帝國の危機を望見するを得、故に明了に其危きを指示する事を得。今蘇峰先生の此書を著さるゝを讀むに、言々句々、其節に當り、恰も每人の枕上に大聲、眼を驚かすが如し。不肖此と感を同うせりと雖も、淺學非才、到底書を作て世を覺醒せしむる能はず、而して今此書に由て、悶々の幽憤を開くを得たり。歡喜何ぞ是に若かん。蘇峰先生は、博學達識の士なり、憂國の至情凝て此書を成せり。嚮に『時務一家言』と、『世界の變局』を著せり、是正に此の書の前篇たり。この三書を讀で、蹶起せざるは、人に非ず、人に非ざるに非ず、生人に非ざるなる、生理上法律上、生人の列に伍すと雖も、實は死人なり、而して此を讀で、猶强て己れの非を飾らんとするが如きは、即ち曲學阿世の徒にして、所謂今日の蠹毒たり。今我帝國亡國の街道に入り、濁浪を既倒に挽すを得ば、實に此書の賜なり。蘇峰先生の外、憂國の志士猶多かるべし。既に深柳政太郎氏の此書に對する評論を讀む、是に感を同うせり、其言ふ所、言はざると、書記すると、否とあるも至情は皆一なり、憂國の至誠を以て迷夢を驚破せしめられん事を、同憂の士に訴へんとす。不肖は殘骸を海外に投じ、常に外間より我帝國の危險を不斷に警告せんとす。六十年前の維新の志士は、斷頭剝腸、至誠を盡せり、今の志士は、豈古に誤らんや。今此書を讀むの人、勸むるに朋友に、親に、鄉黨に以てして、一人にても多く、之を讀ましめざるべからず。幸に我祖宗の我國を守護せるなり、是れ版を更ふる事三十有餘に及べり。猶進で數百版を更へて、全國に普及せん事を、人誰か亡國を喜ばん、亡國務なり、是今日の急たるを知らざるによる。若其れ是を知らば、悚然として身毛の竪んのみ。唯是を救ふの途、亞細亞主義の徹底にあり、亞細亞主義の整備にあり、是を除て是を救ふの途なし。故に此書の普及は、救國の妙方なり。茲に切實に全帝國の人士に、此書を讀まん事を勸告す。是數萬言の蛇足、饒舌を加ふる所以なり。(完)

朝鮮の蠶業 (五)

△養蠶製糸と器具

朝鮮に於ける從來の養蠶には概ね一定の蠶具と稱すべきものなく、又製糸に於ても一定の器具を用ふるもの稀れで、多くの家具を代用し、或は手に依り紡出すが如き狀況にして、勞力及び經濟上不利少からざりしが、故に本府は先づ地方官廳をして各地に有合せの材料による器具の製作を勸奬せしむると同時に、內地より優良なる器具を購入して配付を行ひ、以て是等...

▽器具の普及

を圖れり。又地方廳に於ても地方費又は補助費を以て各種の養蠶具及製糸器を購入配付し、或は之を貸付けしつゝあり、今最近數箇年に於ける本府及び地方廳の配付養蠶具製糸器具數を示せば左の如し

年次	養蠶器具 本府配付	養蠶器具 地方廳配付	製糸器具 本府配付	製糸器具 地方廳配付	摘要
明治四十三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
同四十四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
大正元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
同二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
同三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
同四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	

△模範養蠶其の他

本府に於ては蠶業思想の啓發を圖らむ爲明治四十三年には京城居住の貴族三十名を選拔し必要なる蠶具を貸與し桑葉蠶種を無償配付し本府技術官監督の下に婦人數名を以て飼育せしめ其の任に當つて模範養蠶を爲さしめ又夏秋蠶飼育を奬勵せむ爲め技術者を派遣し明治四十四年より大正二年迄慶尙北道の冰川風穴の完成を圖り模範場をして一般夏秋蠶の無料貯藏を爲さしめしが本風穴は大正二年春期慶尙北道に引繼け又地方廳に於ては地方費又は授産費を以て或は...

▽蠶室の改造

風穴、氷庫、蠶具等を設備し或は産繭の共同販賣に對し補助金を交付し或は蠶業に關する印刷物を配付する等蠶業の奬勵につとめつゝあり以上各種の施設に伴ふ本府及地方廳の經費は明治四十三年度七萬八千八百二十七圓同四十四年度三十五萬一千五百八圓大正元年度三十八萬五千二十四圓同二年度四十萬二千四百六十八圓同三年度四十二萬二千五百六十九圓同四年度四十七萬一千百五十三圓同五年度四十六萬九千三百六十三圓にして更に之を費目別に示せば左の如し

年次	國費	地方費
四十三年度	[illegible]	[illegible]
四十四年度	[illegible]	[illegible]
大正元年度	[illegible]	[illegible]
同二年度	[illegible]	[illegible]
同三年度	[illegible]	[illegible]
同四年度	[illegible]	[illegible]
同五年度	[illegible]	[illegible]

日報詩壇

探梅 兒島九臯

橋梅・樹梅・寒未開。凝寒・老木・渾無色。獨立・花邊・忽忘回。詩香・浮動・酒杯。

評曰、閑雅絕俗、對花姑誦、得宜。

讀李太白集 木田芳洲

詩・學・謫仙・降自天。胸中・錦繡・發千篇。

詩成・泣鬼・渾超俗、一代風流・萬古傳。

評曰、詩格・寄想・高邁。

日報歌壇

京城 鈴木百弥子

ひさ〳〵に心晴れたり黑髮を梳けば小さき幸をおぼゆれ

苦めの病みにかづきし我が衣を日向に曝せばわびし初春

京城 蕗

父に別れ母に別れて獨りなる心はあつき淚にしめり

龍山 岡本小草

つゝがなき身をよろこびて雪ふる夜一人しづかに母にふみかく

三浪津 山茶花

木枯のあひまに琴の音きこゆ物語めく冬の夜かな

朝鮮彙報

朝鮮彙報 大正六年二月號 (定價貳拾五錢 郵税二錢五厘)

主要目次

口繪

各道長官會同の狀況
消防出初式(京城)
城津に於ける鯡の豐漁
元山築港丞魏進行の光景
樂浪時代の古器

○道長官に對する長谷川總督訓示
○司法官に對する長谷川總督訓示
○朝鮮產業の現狀を敍して工業の將來に及ぶ ……小原農商工部長官
○米國の郵政概況(三) 矢野遞信事務官
○朝鮮の氣候に就て 平田觀測所長
○火田民生活狀況に關する調查 小泉總督府技師
○マレイン應用例 原警務總監部囑託
○鳳凰山浮石寺の保存工事執行に際して現はれたる古記錄の歷史的價値 渡邊彰

行政 全羅南道行政區域名稱○大正五年中朝鮮貿易○大正五年末經濟概況○一九一六年上半期浦鹽港の貿易○大阪對朝鮮貿易○開港に於ける滯貨○方山人蔘採取狀況○

財政及金融 一九一六年上半期 ○朝鮮貿易

產業 ○テウセンカラマツ播種床に就て○主要農產物優良品種普及の狀況○平北上流地替貯金事務概況○年末年首の郵便爲可○咸興西湖津間輕鐵驛名改稱○十二月中に於ける鐵道貨物荷捌狀況○元山築港工事狀況

遞信事業概況○朝鮮輕便鐵道の認可○郵便狀況○十二月中鐵道運輸○十二月○船舶狀況○災害復舊工事

學事 私立學校狀況 ○倂阪小學校教育 ○學校視察報告

司法及警察 司法制度沿革○銃砲の取締に就て○朝鮮に於ける新聞雜誌及出版物

地方通信 (平安南道) 面事務に關する事項(京畿道)○風俗變遷の狀況

雜報○敍任及辭令○統計○法令及通牒○判決例

△投稿ヲ歡迎ス 原稿締切期限每月十日
△販賣店 朝鮮各地の書店に販賣す
△廣告料 一頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店

獨逸の經濟的勢力

蘇峰 德富猪一郎序 農商務省參事官 男爵 伊藤文吉著

定價 壹圓五拾錢 (郵税十二錢) 總布上製各種著色版統計圖表卅四種

目次

一、第一章 總說 一、歐洲大戰後の經濟戰爭 二、國防と工業動員 ▲第二章 獨逸產業發達の沿革 一、保護政策の確立 二、農工商業の發達 三、獨逸の國富 ▲第三章 獨逸產業の現況 一、石炭 二、製鐵及鐵工業 三、化學工業 四、纖維工業 五、精糖工業 六、玩具 七、農業林業及畜業 ▲第四章 獨逸の產業發達の諸因 一、獨逸氣質 二、教育制度の完備 三、資本及企業の集注 四、勞働者保護 五、交通機關の發達 六、海外銀行 七、獨逸商人の販路の開拓 ▲第五章 獨逸の世界的發展 一、殖民 二、教化政策 三、列强の世界經濟政策 四、合衆國の產業に於ける獨逸人の功業 △各國產業統計の比較圖表 ▲獨逸產業發達の統計圖表 ▲日本重要輸出入品番附

△報知新聞評 獨逸が聯合軍と開戰以來既に二年に垂んとし、然も其戰鬪力毫も衰へざるのみか、多々益々辨ずるの概あるもの果して何に因て然る乎。吾人其の無限的戰鬪力の背後に、獨逸が多年の準備と計畫とありし事を知ると共に、特に最近約半世紀間に於ける獨逸產業發達の效果、最も偉大なるを認めずんばあらず。△報知新聞曰く 世人やゝもすれば獨逸の軍國主義を說いて其經濟的方面に著眼する無きを慨し、獨逸の經濟的勢力の絕大なる所以を詳述す。議論頗る精確にして甚だ信據するに足れり。殊に附錄として卷尾に掲げられし各種の統計圖表は、一目獨逸の經濟的勢力を明かにするを得て便多し。此の言の如く著者は、最新の材料と最近の事實とを綜合し、之を敍述するに的確なる識見と、平明なる文章を以てし最近五十年間獨逸產業發達の沿革より、現時隆盛の狀況を詳にし、其の發達進步の諸因を究め、世界に於ける獨逸國民の發展の情形を明にし、以て日本の現狀と比較對照し、痛切に日本國民の深省と發奮とを促がせり。實業家は勿論、實業教育に從事する者、又た經世に志ある人士の必讀す可き刻下有用の良書也。

發賣元 京城太平通壹丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

官費貴費入學案內

大正六年一月改正 最新東京遊學案內

△最新東京地圖挿入 ▲紙數四百餘頁 定價金五十錢 送料六錢

改正 陸海軍出身案內

▲四六形三二〇頁 ▲正價卅八錢 ▲送料六錢

發行所 東京京橋南槇町三 振替東京一六三番 東華堂書店

大正六年一月改正 新刊本日發賣 紙數三百餘頁 正價卅八錢 送料六錢

◎地方長官會議

後藤内相の訓示演説(第二日)

地方長官會議第二日は十三日午前十時半より内務省會議室に於て開會後藤内相病氣缺席に就き特に寺内首相本野外相臨席内務省よりは水野次官以下各局課長及び岡田警視總監、小池憲兵司令官出席、先づ水野次官は内相代理として別項の訓示を爲し終つて渡邊地方、永田警保兩局長の指示及び諮問あり最後に簡單に事務の打合せを爲し是れにて同會議を終り夫れより一同は午後五時より内相官邸に於て開かるゝ内相招待會に赴けり(東京特電)

▲内相訓示概要

(前略)現内閣は成立の當時より努めて議會の解散を避けむが爲めに努力したり、然るに國民殊に智識階級中には往々當初より解散を豫期せるもの尠なからざりしのみならず政黨間に於てもまた憲政會を除くの外は概して之れを希望するが如き情勢を示せり、之れ果して何んの故なるか言ふまでもなく不自然に成立したる多數黨と不自然に減少せる少數黨との存在するが爲め衆議院の實情は到底完全なる立憲政治の運用に貢獻し得ざるものなるを憂慮したるの餘り、寧ろ解散を希望して一點の光明を將來に期待したりしなり現内閣は此の間に處して國家重寄の任に膺り奉公の誠を盡すが爲め先づ之を内外の情勢に鑑み決して内閣更迭の際に於ける從來踏襲の型に捕はるゝことなく斷々乎として強硬確實なる經綸を提げ以つて此の難局に臨むを必要とせり現内閣成立の前後に於いて寺内首相の如何に此の點に於て努力する所ありしかは首相の演説に徵して自から昭然たり然るに一般の政黨者流は現内閣を目して或は國民と沒交涉なりと謂ひ或は政黨を阻害するものなりとなし百方民心を煽動せんと努め甚だしきに至つては現内閣は國民に立脚するものにあらずとの言を弄し極端なる一種政黨式の用語を製出して盛に中傷を試み更に進んでは超然内閣なる稱號を冠せしめ斯くの如き内閣は非立憲なりと呼號して其の理由とする所往々欽定憲法の精神を沒却したるの感あるも亦毫も顧る所なし憲政會は斯くの如くにして故桂公爵の創立に係れる同志會の宣言綱領を無視するの奇觀を呈し猶且自ら悟らず益々其の非を遂げんとせり是に反して政友會は今猶故伊藤公爵の創設當初に於ける精神を確守して一に節制を重んじ此の往々にして常軌を逸せんとするの局面に處し依然其の本領を失ふか如き事なく是を是とし非を非とし寧ろ着實公平なる態度に出で以て其の主張を一貫す此の秋に當り識者中に於ても前内閣の成立以來言論機關が穩健中庸を失ふに至りたるの甚だしきを嘆ずる者少なしとせず現に言論界の巨擘を以て押さるゝの人にして大隈内閣の新聞操縱を目し我國憲政史上に於て拭ふ可らざるの汚點を加へしめたりと指摘し議員買收の爲我國政界の腐敗時代に至れりと切言するものあり世人は是を以て時弊に適中せるの言なりとし朝野等しく之を賞贊せり然るに不自然なる多數黨は中傷を試み侮言を放ち百方民心の煽動を事とし苦心到らざるなし然れども時勢は既に推移せり曾ては斯くの如き手段を以て人民往々其の煽動する所となりし事あり然も今や我國々民の判斷力は既に幾多の鍛錬を經たり是を以て如何に煽動を試むるとも政黨偏見を以てしては之が爲めに蠱惑せらるゝ事なし現内閣は成立以來終始立憲の常道を逸せざる事を努む然るに憲政會及一派は立憲の道を逸すとして呼號し各地に演説を試む然れども一般公衆の毫も之に惑はざるゝ事なきは何の爲めぞ彼の遊説者の主張せる立論の根據明かに誤れる事を知り爲めに反つて現内閣の一貫したる至誠寧ろ一般の知悉する所となりたるが爲なるや明白なり不自然なる多數黨の主張も之が爲め短日月の間に於て次第に變化を來し殊に其の首領の如きは山形縣より初めて各縣の遊説を爲すに從ひ漸次其の論旨を變更したるの形跡歴然として掩ふ可らざるものあり(中略)然れども尨大黨の勢力を恃んで政界を混濁し且誤れる黨派政治の觀念を鼓吹したるの後を承けて成立したる現内閣の主旨としたる所を國民に洽く徹底せしめんとするは決して容易の業に非ざるべし我が地方長官各位に於ては斯の如き流弊の爲にする所を看破し種々なる謬言の爲に人心の誤らるゝが如きなきを期し一意專念忠誠の至情を以て國家の前途を開拓するが爲健全なる民意の隱蔽せらるゝが如き事なきを旨とし以て其の職責を盡さるゝ事を深く信じて疑はず

◎外相と參謀總長 首相官邸訪問

寺内首相本野外相は十三日内務省に於ける地方長官會議列席後に揃ふて官邸に入り直ちに別室に於て本野外相より十二日山縣公訪問並に林公使との會見につき種々聽取する所あり十一時半外相は辭去せるが同時に上原參謀總長來邸し首相と面談し正午辭去したり(東京特電)

◎海軍辭令

十三日左の如く海軍辭令ありたり(東京特電)

伊吹艦長兼鞍馬艦長海軍大佐 大内田盛繁
免兼職
石見艦長海軍大佐 森本宣寛
免本職 補鞍馬艦長
海軍砲術學校教官海軍中佐 大湊直太郎
免本職 英國駐在仰付
海軍々令部出仕海軍少佐 常盤盛衛
免本職 補海軍々令部參謀
海軍々令部參謀海軍少佐 濱野英次郎
免本職 英國駐在仰付

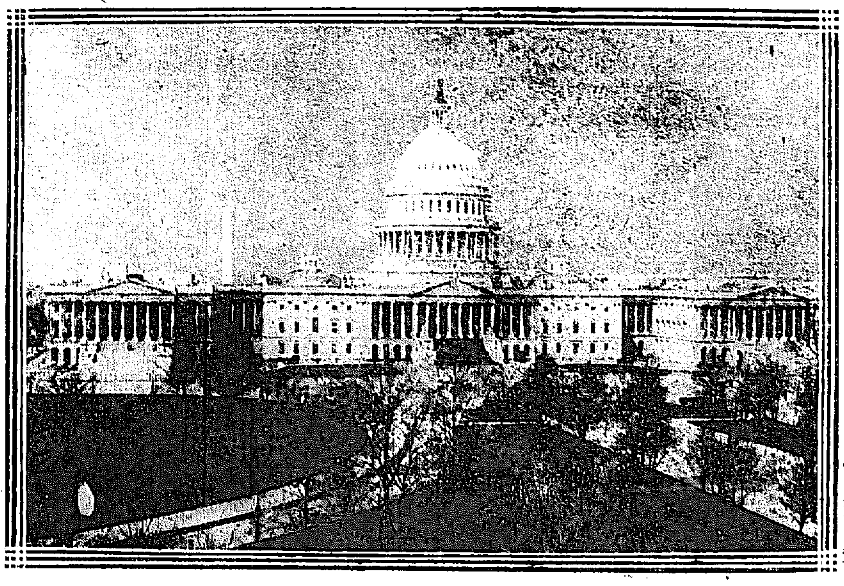
◎獨逸の海上交通禁止區域

獨逸の海上交通禁止に就き釜居武官の談に曰くアムステルダム來電に依れば獨逸は其の講和提議を拒絶せられ此の上戰爭を強ひられたるに鑑み手段として爾後何等の拘束なく一切の戰鬪手段を用ゆるに決し在獨米國大使に此の旨通告せりとの事なるが該覺書本文にて獨逸は英國の對獨封鎖を不都合なりとし遂に最後の兵事手段を執るの已むを得ざるに至れるものなりと縷々陳述し、附屬書に於て大略左の如く場所を限り此の限定海面に在りては二月一日以後一切の手段を盡して海上交通を禁ず可き旨を記述したり

一、ビスケー海の全部(西班牙の北沿岸二十浬幅を除く)英佛海峽、北海西半部(セートランド島を含み和蘭沿岸二十浬幅を除く)英國北方フオールﾄ島以南愛蘭西方三百浬の海面

二、地中海に於ては佛國ピクイット岬(西佛國境附近)及び北緯三十八度二十分、東經六度の地を連ぬる線以東の海面全部(但し希臘に到る幅二十浬の中立海面に限り航行を許す)並に北海面内特定二十浬アルゼリア沿岸六十浬幅の海面

尚ほ英米間の交通に就きてはファルモースを唯一の發著港とすること、特定航路に依ること、船體に特定記號を附すること、獨國所定の戰時禁制品を積まざるの米國政府の證明書を有するてふ條件下に每週一回を限り米國船の航行を許すことを附記しあり、又た別電に依れば獨國は英國交通に對しては特定記號を附し特定航路に依りフラッシング、ソーズソアト間を航行する蘭國タッデルスーマアのみは一週一度の航行を許すことに決せりと



華盛頓の米國會議事堂

◎東拓滿蒙調査

東洋拓殖會社の滿蒙に對する拓殖經營は北進可能の主律施あり欠其の進出をなす筈にて夙に拓地殖民金融上に關する諸般の調査を行ひつゝつあるが目下は滿洲定住の某有力者主となり會社よりは參事鈴木重治氏出張し近々參事として入社すべき某氏も亦滿洲に向ふ由滿洲に於て滿鐵沿線附屬地は狹小に過ぎ内部深く入れば治安保し難く加ふるに一昨年日支新協約により獲得せる農業經營上の土地商租權(永代借地權類似)はあれど完全なる所有權の未だ認められざるに付東拓の進展活動には少なからぬ障碍あるに似たり

◎戰亂の影響と畜産及び蠶業

▲畜産 歐洲の時局は朝鮮の畜産業に大なる影響を與へ大正四年には生牛、牛皮牛脂の輸移出數激増を來せり生牛に關しては別に掲出したるを以て左に牛皮、牛脂の輸移出數量及び價額を示す

年次	牛皮 數量	牛皮 價額
明治四十三年	[illegible]	[illegible]
同四十四年	[illegible]	[illegible]
大正元年	[illegible]	[illegible]
同二年	[illegible]	[illegible]
同三年	[illegible]	[illegible]
同四年	[illegible]	[illegible]

年次	牛脂 數量	牛脂 價額
明治四十三年	[illegible]	[illegible]
同四十四年	[illegible]	[illegible]
大正元年	[illegible]	[illegible]
同二年	[illegible]	[illegible]
同三年	[illegible]	[illegible]
同四年	[illegible]	[illegible]

然るに本年に入り之等の需要一層増加し本年一月より九月迄の輸移出累計を前年に對比すれば左の如し

▲生牛

年次	數量	價額
大正四年自一月至九月	[illegible]	[illegible]
大正五年自一月至九月	[illegible]	[illegible]

備考 本表には陸接國境輸出をも含む但し大正五年分は八月迄とす

▲牛皮

年次	數量	價額
大正四年自一月至九月	[illegible]	[illegible]
大正五年自一月至九月	[illegible]	[illegible]

備考 本表には陸接國境輸出をも含む但し大正五年分は八月迄とす

▲牛脂

年次	數量	價額
大正四年自一月至九月	[illegible]	[illegible]
大正五年自一月至九月	[illegible]	[illegible]

而して生牛、牛皮の如きものは急速に其の生産を増加し難きが故に一時に多數の輸移出、屠殺等を爲すときは向後の生産上に障害を來すを以て生産に適する優良牛は輸移出、屠殺等を爲さしめざる樣戒飭し居れり

▲蠶業 家蠶繭は歐洲戰亂の勃發すると共に價格著しく下落し大正四年の春繭は前年に比し約三割方の低落を示したりしが同年秋季以來本邦家蠶絲の最大需要地たる米國經濟界の活躍に因り漸次絲價の昂騰を見るに至れる結果本年の生産繭は春夏秋共に施政以來曾てなき高價に販賣せられ一般養蠶家は豫想外の利益を收めたるのみならず繭の移出額は前年に倍加するの好況を示せり又柞蠶繭糸は家蠶絲の昂騰に伴ひ漸次價格騰貴し繭の輸移出の如きは近年稀の活況を呈し斯業發達の氣運を釀成せり

□支那各省の財力

黎總統は本年度豫算の不足甚しきに鑑み嚢に各省々長及財政廳長に電令し速かに本省財力の現狀を調査答覆すべしと傳達したるが已に陸續答申し來りしにより財政部にては之を四級に別ち各省の財力を表示したり即ち左表の如し

(甲)財力豐富にして每月中央財政を補助し得るもの直隸、湖北、河南山西、安徽、江蘇、福建の七省
(乙)財力は自給するに足り且多少中央財政を助け得るもの江西、山東奉天、吉林、陝西、甘肅の六省
(丙)財力は本來豐富なりしも兵火に遭ひし爲め疲弊し尙恢復するに至らず從つて中央財政に貢獻する能はざるもの廣東、廣西、浙江、湖南四川の五省
(丁)財力足らずして他省の協濟を受け或は昨年の革命軍費を多く支出し之が補充の途無き爲め中央財政を援け得ざるもの雲南、貴州、黑龍江、新疆の四省

◎大連豆粕滯貨

開埠以來の新記錄

大連に於ける最近狀況を聞くに特産物の出廻り以來繁忙を極めたる金融界も新年に入りて後は

▲多少靜穩 となり特に一月廿三日より支那舊正月の事とて海關取引所鈔業公所其他一般支那商人並に關係者は悉く休業し取引は休止の有樣なりしを以て中旬以降頗る閑散にして平凡の裡に越月せり埠頭の滯貨は前年異常の數量に上りしが年末より年初にかけ引續き特産積取旺盛なりしに中旬以降は支那正月にて特産の取引は休止し奧地よりの出廻りも減じたるを以て滯貨も三十萬噸を超ゆる事多からず前年に比し大差なきに至れり舊正月後は再び出貨盛んなるべきも四十萬噸を超ゆる事はなかるべく埠頭の設備は

▲五十萬噸 を保管する餘裕ありと云へば前年の如く收容上の困難はなかるべし唯豆粕の製造は各製造所共益々盛んにして火車物の搬入さへ從つて埠頭の豆粕在荷は著しく增加し一月八日には四百五十二萬枚に達し開埠以來の記錄を破り埠頭は大豆等を野積として豆粕を屋内に收容するに努めたれども遂に收容力なきに至り油房連合會は二割の生産制限を決議し十日より實行しつゝあり

◎昨年の重石産額 百六十四萬圓

昨年四月以降十二月に至る重石産額總額は八十五萬八千四百二十六噸此の價額百六十三萬六千二百九十六圓に達し一箇月平均五十六噸の割一噸約三千圓に相當せり而して其の産出地は江原道を最とし忠淸南北、平安南北、慶尙南北、京畿道等之れに次げり

◎東拓利下と借換

東洋拓殖會社金融部にて貸出金利の引下げを行なひたる事は既報の如きが引下げ以來特に其の金融申込みをなし來る數の增加は現はれざれば顯著の效果は未だ擧がらざるも舊正月を經過し農繁期に入るに連れ其の若干の効果はあるべく一方利下以前高率にて貸出しを受けたる者の内には借換の希望を持するものもありと

◎日滿換算率

日滿聯絡貨物引換代金換算率東淸及び烏蘇里線經由の場合は二月十一日以降當分の内日貨百圓に對し露貨百八十三留とする旨其筋に通知ありたり

◎研究會討論會

永樂町研究會にては十三日午後七時より學術討論會を開き左記問題に付き討論せり

(問題)債務者が債務の履行を遲延したる場合に於て債權者は是のみを理由として其の契約を解除し得るや

因に出題者は小田法學士積極主論者鷹松法學士消極主論者法學士にて多數の參聽者あり盛會なりき

◎鮮銀大連支店新築

朝鮮銀行にては滿洲に於ける業務の擴張上更に大連支店新築の必要あり愈々今春の解氷期を待ちて總工費二十萬圓乃至四十萬圓を投じ大建築に着手す可き計畫あり竣工期間は約二箇年なりと

◎城覆審法院長巡視

城京覆審法院長は鐵原、元山、永興の管内各支廳巡視の爲め十四日午前南大門驛發の列車にて出張す

◎人見課長動靜

歐洲出張中なりし總督府農商工部農務課長人見次郎氏は十二日夜天洋丸にて横濱著歸朝せり、氏は著後直に東上本省と事務打合並各種事項調査の爲め約三週間滯京の上歸任す可し

◎吉田支店長渡歐期

鮮銀東京支店長吉田節太郎氏は豫て本店より歐洲出張を命ぜられ居たるが氏は本月二十一日横濱出帆のコレア號に搭じ米國經由倫敦に向ふべしと

人事消息

▲森脇氏(平壤辯護士) 十三日總督府醫院に入院
▲大藏公望氏(鐵道院技師) 十三日夜退京
▲木村林次郎氏(三菱社員) 十四日朝退京の筈
▲田中義質氏(平壤高等普通學校長) 十三日夜入京浦尾へ
▲ゴリス氏(米人) 同上朝鮮ホテルへ

◎南言北語

ヂョーヂ、ワシントンがやられたと云へば妙に聞ゆるが▲ワシントンは英國貨物船で獨逸の水雷の餌食となつたッユリノ號の米人火夫であつた▲端なくも此の事件から益々米獨開戰の危機は進み相になつて來たと云ふ▲ワシントンがやられたと云へば米人の爲には余りに緣起よくも聞えまい▲之れ天が米國に向つて速に獨逸膺懲の暗示を與へた者ではあるまいか▲米獨開戰など云へば在米の獨逸系米人が何の樣な事をするのか米國の二の足を踏むで居る理由らしい▲由來獨逸では之の連中を能く外交上に利用したもので昨年程以前のヴェネヂユエラ事件の際米獨關係が切迫した時にも駐米獨逸大使は米獨戰爭は米國の内亂であると脅した事があつた▲然れば實際開戰となれば其の多數の獨系米人が如何に動くかと云ふに▲米國に來て居る獨逸人は壓制の獨逸から自由の米國に來たのを喜んで居るのが多數である▲此處で獨逸の官憲さへ居らずば在外不穩の事はあるまい米國政府も亦自由主義であるから壓迫する如な事はすまい▲若し不穩の事でもあらば政府の手を借るまでもなく米國一流のリンチで制裁する迄▲今度の總選擧で内地は候補者が簇出して最う啼くだろうとは某米國通の談▲代議士中飛躍が始まつて居るらしいが岡崎邦輔君の代議士觀に曰く「代議士の末路は憫むべきものだよ」と▲故松田正久君などは先づ代議士で學校出身で善い方だらう▲和歌山の大田信一君は政治運動の爲に資産を蕩盡した揚句▲後世の見せしめだと云つて家の周圍の塀なども倒れた儘に放棄つてあるがアレを見ると善い心持はしないよ▲最も悲慘なのは鳥取の某君で之は乞食同樣になつた▲嗚呼代議士の前途又た恐るべき哉か

米國紐育スタンダードペイント會社製
ラバロイド、ルーフイング
アスファルトフェルト
最上毛製屋根葺用(見本送呈)
朝鮮總代理店 京城本町二丁目(電話長四五番、二七七四番) 釘本藤次郎本店 振替貯金口座京城二五六番

顧問 高島平三郎先生
コドモ 三月號
一學校に家庭に一番信用のある教育的雜誌
一冊十二錢 六冊六十六錢 十二冊一圓二十九錢 郵税コドモ良友一冊五厘
東京小石川林町五十番地 コドモ社 電話番町六一八番 振替東京二七九六番
最寄書店になくば本社に申込あれ
幼年雜誌 良友 小學程度の讀物として最も適切

資本金參百萬圓
明治三十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務チ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通二丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
電話局三六四六番 三三九番 振替京城一八六二番 二〇五
支店所在地 水原、平壤、大田、開城
出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

鑛山及船舶業
食鹽輸入販賣
平安南道新安州
合資會社 藤井組
社長 藤井千城

朝鮮書畫家列傳
附錄朝鮮年表(日本支那西洋年表對照)
四六版二二五頁 定價金九拾錢 郵税金四錢
政務總監山縣伊三郎閣下書題
貴族院議員德富猪一郎閣下序文
總督府員吉田英三郎著
德富蘇峰先生は卷頭に序して曰「朝鮮は文化に於て支那と日本との仲介者たり。而して其書畫の如きも自から兩者の中間に位するものあるに似たり。苟も朝鮮の文化を鑑賞せんとす。書畫は實に其主なる資料たらずんばあらず。是れ朝鮮書畫の即今世上に流布し且つ珍重せらるゝ所以の一たらずんばあらず」而して此朝鮮書畫列傳は朝鮮古近の書畫諸名家五百有餘人の小傳を聚集し之れを字畫の順序に排列し讀者をして搜索の便を享けしむるに止まらず更らに添ふるに朝鮮年表を以てし日本、支那、朝鮮及西曆をも併記し自他の年代を知るに於て一目瞭然たらしむ朝鮮書畫蒐集者及鑑賞家に取りては座右一本なかる可からざるの珍書なり
賣捌所 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

●總督から銀時計を授けられた
天才少年の頭腦
十六歳の若さで母や弟妹を養ふ

長谷川總督が二月五日に土地調査局を視察した時、製圖課の計算係室に入ると、總督は

◇一少年の 傑れた算數の技倆に目を留めた、少年は三位乃至四位――つまり千及び百臺の數字二十五を集積するのに暗算だと、ズ……ツと見て終ふのに僅に七秒しかかゝらぬ、又之れを算盤に彈かすと八秒でやつて終う、そして其の出た何萬と云ふ合計は常に精確である、少年は總督の前で得意の精確な暗算三回をやつた、其の

◇堪能神速 な技倆に總督は感歎ならず、随行の武官を顧みて『フン成程素敵だ、感心な奴ぢや』と如何にも感に堪ねたやうな聲を發したのであつた、十二日になつて其少年に總督から銀の腕卷時計を賞與する事となり、十三日鈴木局長は總督代理として之を授與した、土地調査局にはさうした數の集積事務が非常に多く多數の鮮人が毎日營々として

◇算盤を握 つてゐる、總督が特に右の少年に賞與し、其の天才的手腕を表彰したのは多數鮮人の勵みをつけるにあつたらしく、少年の感奮は勿論一般職員に與へた印象は淺くなかつた、少年は東大門外崇信面に住み名を安命煥と云ひ本年十六歳製圖課に屬してゐる、日給は七十錢鮮少年としては非常に高給である、安君は

◇慥に數の 集積にかけては一個の天才で、一寸其の比較をとると内地の貯金局の最も優秀な計算手の二倍の速さを有し普通人の五人分の仕事をする、暗算は全く不可解に速いが算盤彈きを見てゐると三本の指で球をかき混ぜてゐるやうに見ゆる算盤を彈いてゐても彼は七分方暗算をやつてゐるらしく、假へば球が多少違つても何の頓着なく、其次ぎや又其次ぎで入れ合はして行く

事務室に於ける 安命煥君

◇唯暗算で やると算盤を持つ丈けの努力を要せず、時間も早いけれど、調査局では安君の頭を餘計に痛むる事を慮んばかつて暗算集積を禁じてゐる、それに同君に感心なのは父は二年許り前に死し、今は母と幼き弟妹の四人暮しだが、其母は病床にあり、彼れは年少にして母を看又弟妹を養なひ、一家の計を其の双肩に荷つてゐる事にある、昨年の夏だつた、寺内前總督が土地調査局を

◇巡視した 時にも同人の天才に感じて金一封を賞賜した、當時其の記事を本紙に出したが、朝鮮銀行では同人を土地調査終了後採用したいと申込み、態々島雄秘書役が調査局に行つて其の早業に驚ろいた、又其他の官廳からも同様の申込みがあると云ふ話しで、同君の前途は洋々たるものがある、一寸面貌を見ると才子風だ、少し危ぶまれてゐるのは同君が妻帯後其の特有の頭腦の働きを鈍らしはせぬかと云ふ點にあるらしい

◉慶北降雪二尺
江原道と交通一時杜絶

慶北盈徳郡地方には九日午後九時二十分頃より降雪あり邑内にて約一尺の積雪江原道界方面の山地にては二尺以上に達し交通一時杜絶したる爲め盈徳警察署にては人夫を指揮し除雪に努めしより十一日より交通復舊したり

◉盜んだ文券で
金百圓を奪はんとす

京畿道始興郡新東面舍堂里居住李玉凝音樂手李用珠(三七)は大正四年十月二十四日夜同里の張斗煥方に忍び入り現金五十錢及び家屋田畑山地等の文券外數點を窃取し文券を楯に取り同月二十九日附を以て斗煥に宛て漢江沿岸の銅雀附近の砂原に金百圓を持參すれば文券は郵便にて送附すべし若し應せざれば書類を燒棄すべしとの脅迫狀一通を送りしも其の目的を遂せざるより其後二回同人方に忍び込み現金三十餘圓を窃取し尚外二軒にても泥棒を働きたるが遂に檢擧され京城地方法院にて懲役八箇月の處分となる

◉木浦火藥庫破り
連累者捕はる

去る八日午後八時釜山牧島洲岬通田文七方に忍入り縮緬兵古帶を一本を盜みたる賊あるより同島派出所巡査が搜索中同島畑志野しか名義にて土石頸屋に二圓五十錢にて入質せる者あるより賊はテツ切り此邊に居るものと十一日役三時頃同島を密行中同島藤堀附近に怪しき男行み居るを引つ捕へ同行取調べると此奴は咸鏡北道生れ川村三吉(三九)と云ひ尚ほ一月下旬牧島鈴木萬藏方にて浦鹽の下に敷きある現金十八圓を盜みて牧島絲町遊廓にて消費し又昨年十月中堀川清太郎一味の者と木浦なる丸岡火藥店の火藥庫を破りてダイナマイトを盜取し贓品は船にて釜山へ陸揚げし同島居住の某等と結漁に件のダイナマイトを使用しゐたる事判明したり

◉兩中尉の
偵察飛行

甲府に一泊したる兵藤、瀧川兩中尉は十三日早朝出發用意を整へたるも甲信國境に白雲低迷し居たるを以て先づ偵察飛行を行はんと午前八時四十分兵藤中尉は四十三號機を操縱し迂回飛行を爲したる後練兵場に歸着し續ひて十時半瀧川中尉は十九號に搭乘し韮崎町に向ひ縱横に飛翔し引返したるが其の結果百二十米突の上空に白雲漲りて方向を失する虞あるを知り中止することに決し正午零時半偵察飛行を試みたるも天候益々險惡なるため遂に中止したり(東京特電)

◉焚火から大火
窮民二十四名を救助す

慶南梁山郡下西面花濟里農金一圭方より二月一日午後一時頃發火し折柄の强風に煽られたる火は忽ちに全部落に延燒したるが消防組及び消防器具なき爲め里民は僅かに水甕を以て消防したるも十三戸十八棟(百二十四坪)を燒き拂ひ同七時頃鎭火したり損害約八百圓位なりと罹災者中六戸二十四名は極貧のことゝて忽ち糊口に窮したるを急報に接し梁山憲兵分遣所より憲兵出張して六戸の家族は親戚知己等に避難せしめたり原因は金一圭方の表庭にて火鉢に焚火中烈風の爲め傍らの松葉に延燒して大事に及びたるものなりと

◉京城乘馬會の寒稽古終了
立花師團長の祝辭=會員夫人の嘆聲
罰金當外れの事=皆勤の殊勳者

一月十日から始めた京城乘馬倶樂部の寒稽古は二月十日を以て愈々終了を告げた、會員二十五名の内一日も休まなかつた精勤者五名一日缺勤四人其他も三日と休んだ者は一人も無く

◇全會員の馬術は 驚くばかりに上達した十一日の納會には野村師範今日を晴れと凛々しくも扮裝馬場の中央に駒を引揃へ會員は三班に別け師範が勇壯なる號令にて早足、驅足、馬上體操、指揮運動其他の馬術一通りを演じたが當日は古海中將、松永道長官以下の文武官貴婦人連特に會員の夫人連などは勇ましい良人の乘馬振りを見んものと押し並んで居た、騎術は目出度終りを告げ馬場で冷酒の祝ひが有つて同夜千代本で宴會を開いた初めの計畫では宴會の經費の拂ひ代位は

◇缺勤一日二十錢 と遲刻一回十錢の罰金で充分ある豫定であつたが前記の通り全會員の驚くべき勉强の爲めに罰金はお話しにならぬ位僅かであつた宴會の席次は勤怠の順序に依つて定められた即ち首席が鮮銀の小松川君其次が□一君三番が鈴木土地調査局長其次が衣角警視で此れまでが缺勤無遲刻皆無次が權藤李王職事務官缺勤無しで遲刻が二回に一日缺勤が阿部井上中村の三氏それに假隊氏其れに次いで菱田村田二宮中野の諸氏であつた

◇席上で鈴木局長 は組合員を代表して乘馬倶樂部の起る所以から將來の抱負を述べ來賓の立花師團長は近時社會が日一日と弱に流れて行く中に斯の乘馬倶樂部諸員の如く嚴寒を物ともせず毎早朝汗馬に鞭を揮ふ稽古振りは却々勇壯であつて獨り乘馬會のみならず社會風教上大いに意を强くせりとお褒めの祝辭があつた、何にしろ此の一月から寒さは近年稀有の寒氣それに午前七時に馬場に集るのだから却々

◇寒さも骨身に應へる 零下二十二度と云ふ朝も二朝三朝あつた馬の吐く息や鬣はみんな氷柱に成つて下る馬の身體は汗が凍つて眞白に成る騎手の方も眉毛も眞白に凍つて氷柱の下らんばかりだ、寒氣は耳を凍傷した、雪も二三度降つた馬場が滑る〳〵に氷つて馬の足場が惡い、七時に馬場に出て行くには五時半頃に起きなければ成らぬ家の者はまだ少しは早く起きなければならんので或る會員の夫人など『世の中は儘にならぬものだ乘馬會の寒稽古で

◇夜遊びが止んだ かと思ふとこの寒中五時頃から叩き起される』つく〴〵嘆聲を洩したと云ふ事だ馬場に立て野村師範の號令で蹄跡といふ時にいつも美しい朝日を馬上から拜するのだが何んとも云へからざる壯快だ權藤事務官などは二回遲刻した時なども感冒で二回共熱が三十七度も有つたそうだそれでも人後に落ちてはと勇を鼓して出勤した歸宅後少しは具合が惡いが早朝乘馬稽古に行つて來て

◇役所を休む譯に も行かないからと云ふので役所の方も辛抱して遂々一日も缺勤しなかつたそうだ

◉大豹を撲殺す

平北渭原郡松西面西四洞農李承雲(三七)方表門内に十二月二十八日午前九時頃一頭の大豹侵入し豚一頭を咬傷したるを妻李氏が發見し承雲は直ちに棍棒を以て豹を追跡したる際同里の孫志彦(二〇)が協力し兩名にて遂に件の豹を撲殺したる旨此程警務總監部に報告あり猛獸驅除賞與金の下附方を平北警務部より上申せり

◉巫女火を放つ

黄海道平山郡古三面遠城里申洛均妻高塔山(四九)は巫女なるも一向に祈禱依頼者なきより惡心を起し一月二十六日午前六時より午後五時迄に同里の申昌水外四戸に放火し翌二十七日白晝又も放火して消止め置き村人に對し是は鬼神が村に祟りて鬼火を放ちたるものなれば速やかに祈禱すべしと揚言しゐたる所を瀬川憲兵分遣所にて探知し訊問したるも容易に自狀せざりしが留置取調べの結果遂に自白するに至り目下嚴重取調中

◉暖かくなつた

此の月初めまで寒かつた京城の冬も少しく春めいて來て十三日には最低零下八度であつた此の温度は例年よりも一度ばかり寒いがまづ此の冬の寒さも此の位の氣温を二三度繰返へして居る内にはずつと温かに成るであらうとは測候所長の談であるが季節は爭はれず東大門外の眺めは何時しか春めき水田の畔の冬越草が青々と色づいて柳並木の梢も芽ぐみんで赧しく成つて來た

◉神裁人を撲り殺す

咸南元山土里の魚商人捕成樂(三九)同陽地洞魚商金□洙(三〇)の兩名は二月二日午後三時頃永興郡德興面□□里の宋文方にて飲酒して醉酊の上□洙は成樂に對し曩に汝に預けたる三十九圓の金員を返濟すべしと迫りたる際同人は金を預りたる覺なしと論爭中偶來合はせたる咸川郡□山面□興里の李明俊(四〇)が之を仲裁せんとしたるに□洙は兩人の爭に仲裁するは不埒なりと罵りたるより同人も憤りて爭鬪となりたるに成樂は之に加勢し兩名にて明俊を亂打して遂に死亡せしめたる爲め兩名は直ちに鎭興場憲兵派遣所に引致さる

◉板の間稼ぎ

京城西小門町長崎市片瀬町生れの佐藤某(二四)は前科三犯あり一月八日夜永樂町二丁目永樂町にて□谷なる廣瀬某の現金十九圓在中の財布一個を窃取し二月四日には本町一丁目脇田某方店頭にて婦人用絹ショール一枚(四圓九十錢)を窃取して僞名入質したるを手初めに京龍に亙り外八個所より金品を窃取し新町、桃山の兩遊廓にて豪遊中を本町警察署の刑事に探知され引致取調べの上檢事局へ送られる

◉他人の褌で相撲

京畿道楊州郡九里面雜貨商元相(三)は同面仁倉里孫完至(二〇)が父を喪ひ財産を所有し居るより同人より金品を捲揚げんと昨年舊五月中共同營業名義にて牛皮商を營まんと勸め其の資金調達のため同人に田地を賣却させ其の代金三百圓を領得したるも牛皮商をなさず之を高利に貸付け自己の腹を肥し完至より返金方を請求せしも一向應ぜざるより遂に告訴され元相は京城分隊派遣所に引致目下取調中

◉臺灣の寒氣

去る一月三十一日臺灣東海岸地方を除ける島内各地季節風減却するに從ひ天候快晴となり夜に入ると共に臺北にては氣温漸く下降し翌二月一日午前二時より三時の間に最低氣温四十一度を示し本冬季に於ける氣温の最低レコードを作れり而して當日草上に裝置せる地温計は實に三十四度二にして氷點に達せざる事僅かに二度二に過ぎず例年二月上旬を以て氣温最低時季となし居れるが本年も此の例に漏れずかく低温を示したるものなりと因に臺北に於ける絶對最低氣温は明治三十四年二月四日の三十一度六(氷點下零度四)にして當時は臺北市内の手水鉢に薄氷を見るに至りたる由にて去る一日の地温は稍之に近づきたるも僅かに二度餘の差にて降霜に至らざりしと(臺北)

◉放火犯人捕はる

全南求禮郡求禮面鳳北里金貸業小牧明德方に昨年十二月二十七日夜放火して同人居宅を全燒せしめ其の混雜に紛れ込みて手提金庫一個(現金二百圓在中)を窃取したる曲者あり爾來犯人嚴探中なりしが此程同里の李洪根(二〇)なるものゝ所爲と認められ同人は求禮憲兵分遣所に逮捕されたり

◉未亡人を欺く

高陽郡龍仁面東落里鄭應七(四〇)は大正元年十一月中同里の金半心に二百四十圓を貸與したるに半心は四年十月中病死したるより半心の未亡人金氏(三八)に對し半心に五百六十圓の貸金ありたりと詐稱して該金額を騙取したるに金氏は其の詐言なることを此程發見して鄭應七を其筋に告訴し同人は目下京城憲兵分隊にて引致取調中

◉放蕩から窃盜を働らく

三重縣志摩郡御座村當時住所不定山本安太郎(一八)は昨年十二月頃より□町遊廓の娼妓□巴に迷ひ込み遊興費に困つた結果一月廿六日龍山電力部技手大塚幸一より□□を横領し遊興中を平壤署に引致されて取調の結果昨年十一月中櫻町松田方よりライダキ織膝掛を借り受け其一枚價十五圓のものを櫻町近藤質店にて入質し越て十二月一日櫻町宮本吾市方に忍び入りセル膝掛價格十四圓五十錢のものを窃取し近藤質店に入質し悉く遊興費に消費したる旨自白したれば二月十日地方檢事局送りとなる

◉食器を盗む

仁川警察署管内富川郡多朱面柳園里□□(三一)は一月十四日午前十時同面の知己成聚郁方の炊事場に忍び入り朝鮮式鍮成食器七個を窃取したる事を探知され九日仁川支廳に於て笞九十に處せらる

◉米八升を竊む

京城西大門町一丁目居京畿道驪州郡生れの李春先(四十)は二月八日午後一時頃西小門町木炭商八木某方の不在中忍び入り米八升を窃取逃走中を同人に取押へられ本町署に突き出されたり

一石炭(切込炭) 武百五十噸
右購買ス詳細ハ二月十四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正六年二月十二日
朝鮮總督府

物品拂下廣告
第一號 護謨ホース及タイヤ類
第二號 水銀
第三號 下駄臺及草履
第四號 綿メリヤス肌衣及猿股
第五號 流込蠟燭
右入札ニ來ル二月十五日京城稅關出張所ニ於テ賣却ス
大正六年二月一日
仁川稅關

一小學校兒童用机 武百五十脚
一仝 腰掛 五百參拾脚
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ十以上
入札者ハ當學校組合區域內ニ於テ納稅、府稅及當學校組合費年額三拾圓以上ヲ納ムル者ニシテ二ケ年以上斯業ニ從業スル者ニ限ル
右請負希望ノ者ハ當學校組合ニ就キ入札心得書、契約書案、仕樣書、繪圖面等熟覽ノ上二月十七日午前十一時限リ當學校組合ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充之ヲ擔任ス
大正六年二月十二日
京城學校組合

最新刊
孔子及孔子教 服部宇之吉 一、七〇
現代都市の研究 片岡安 三、八〇
大亞細亞主義論 小寺謙吉 三、八〇
佛國研究 教育學術研究會 一、〇〇
口語法 文部省 四五
人體の現象 三澤力太郎 一、五〇
朝鮮の金鑛 町田長作 一、〇〇
模範解説讀方獨習 荒井忠吉 五五
是でも武士か ロバトソン 一、八〇
英譯金色夜叉 アーサー・ロイド譯 一、二〇
向上論 文學 一、四〇
無我の生活 新井石禪 九〇
悟道の妙味 釋宗活 九〇
徹底禪 秋野孝道 九〇
いらぬ道具も手數も服部式家庭茶菓子製造法 七〇
總督府巡査試驗提要 永野清 四五
朝鮮諸官署必讀法律問答 阪上 四〇
全作文軌範 增補三版 安達大壽計 四〇
京城本町一丁目 大阪屋號書店

新刊
書名 著者 定價
冒險お伽噺 六五
金澤サニン 一、〇〇
我が日運 一、〇〇
播かれた 一、〇〇
帝國國難 一、八〇
人證の現象 一、五〇
小學教師としてのトルストイ 三浦 一、〇〇

巖松堂 京城本店 古本部 仁川店
高等文官試驗問題集 巖松堂 六五
高等文官受驗提要 同 四五
牛 岡本米藏 一、〇〇
大正青年と帝國前途 德富猪一郎 八〇
朝鮮鑛業要覽 鑛業研究 一、二〇
民事訴訟法判決實例 三、〇〇
法學通論 六〇
會計法要論 一、一〇

時計貴金屬指輪眼鏡商
地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目 三浦天龍堂

醬油と味噌に漬物
營業科目 醬油釀造元 都味噌製造元 都奈良漬製造元 都田麩製造元 都福神漬製造元 澤庵漬製造元 山口澤庵發賣元 東京澤庵發賣元 支那白菜漬製造元 其他各種味噌類各種漬物類 佃煮、鹽辛、類直輸入御商
京城岡崎町 嶋屋本店 同附屬工場 京城北米倉町 市內販賣所

りん病 ばい毒 詳細ハ昨日ノ本紙ヲ御覧 京城南大門外停車場通り ドラッグ商會朝鮮本部

京日案内
普通 一回前金一圓一番外一圓
看護婦至急數名募集免狀を有する者及經驗ある者本人履歷書携帯來談 西小門町四小門病院
見習看護婦至急入用 希望者は來談の事 旭町三丁目 若狹小兒科内科醫院
古本熱心高價買入 京城旭町 淺野商店
古書及洋服御不用品買入 御報次第参上
有給の御方に低利信用融通 但し商人の方は有給者の要保證 新龍山漢江通六番地七一號 伊勢屋
恩給年金低利即時立替 京城永樂町一丁目 江州屋本店

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

七十八

宴の後『十五』の二

『ほ、ほ、ほ、御前こそ些ともお老り遊ばしませんで御座いますわね。』

お袖夫人は、流石に當年の花の夢を懷ひ起さずには居られなかつたのである。眼を心持細くして、例の金歯をほんの少しばかり露はして、笑ひながら言つた。

『いや、乃公はもう不可よ、すつかり老込んで了つたからの。それから見るとお前などは、彼の時代と少しも變らんところではない、寧ろ二ツ三ツも若返つたやうぢやの。あゝ、女は兎角丸髷姿の事ぢや。』

男爵は、澤山の客を引受けて、十分に醉つて居られるにも拘はらず主人役としての重荷は、なかなか輕からぬのであつたが、漸く今それが肩脱けの出來たばかりなので、何處となく落膽したやうなぐたりと爲た調子であつた。

『まあ、相變らず御前は、お世辭が好くてお在遊ばしますこと……。』

『お世辭ではない、實際ぢやよ。尤も、葭町の綾香と云つては、當時雜誌の口繪にまで出た評判者ぢやつたからの。』

『厭で御座いますよ御前は。妾のやうな愚か者は、そんなにお褒め下さると、取り逆上せて了ひますわ。』

『はツ、は、は、岡田だの百尺だので、お前の玉を轉がすやうな咽喉を聽かされた事を思ひ出すと、何だか彼の時代が懷しうなつて來るての。人間と云ふ者は、幾歳になつても心持だけは、壯いもんと見ゑる。』

『本統にそんな事も御座いましたわね。妾と八千代さんとで、お前が淸元をお唄ひ遊ばして、地を彈かせて頂いた事なども御座いましたつけ。眞個只今になつて見ますと、彼の時分の方が、何の位氣樂で面白かつたか知れや致しませんわ。』

『嘘を言ふちや不可。彼の時分は彼の時分で、好勝手な浮氣も出來たりしたから、面白い事もあつたには違ひなからうが、今ではお前、鐵成金の桑原權一郎夫人ぢやないか。女が一生涯藝妓で了るべきものならば知らず、それほどの大出世を爲て、不滿も不自由もあらう筈はないぢやないか。』

『ほ、ほ、ほ、御前のお目からでも矢張然う云ふやうに見ゑますで御座いませうかね。所が御前……。』と、綾香のお袖夫人は、權一郎の醉ひ潰れたと云ふ遙か彼方の座敷を氣遣ふやうに振返つて、幾分か聲の調子を低めるやうに爲ながら、

『お語では御座いますけれども、只今の成金なんて申す者は、花柳界へ來て遊ぶ時の景氣と、宅に居つて、利益の算用ばかり爲とります時の苦虫顏とは、全然佛と鬼ほどの相違なんでございますから、意外を感ぜずには居られませんので御座いますの。妾なんか宛然、躰の好い座敷牢へ入れられたやうなもんで御座いますわ。』

『豈夫お前、そんな事はあらう筈はないが、何と云つても一家の主婦と成つた以上は、又それ丈の任務と云ふものがあるからの。』

『だつて御前、切詰めた費用を宛はれて、その以上五厘だつて、餘計な費りが出ると、何だとか彼だとか口喧しい事ばかり申して、好なお芝居だつて、安心に見に行く事も出來や爲ないんで御座いますもの。……本統に、御前の前で御座いますけれども、成上り根性とは能く申したもんで御座いますわ。』

『は、は、は、然うお前のやうに主人公の事をわるく云ふ細君もないもんぢやの。』

『いゑ、わるく申すんでは御座いませんの。實際のお話なんで御座いますわ。それも他さまなら、こんな事おくびの先へだつて出しは致しませんけれども、外ならぬ原町の御前にお久し振でお目に亢りましたもんですから、ついね、已往の事が思ひ出されて、愚痴の一ツも申して見たくなつたんで御座いますわ。御前、坊々さと可愛がつて下すつた彼の時代の綾香と思召して、大目に御覽遊ばして下いましね。』

昔は昔、今飛ぶ鳥も落さうと云ふ桑原夫人の口から、こんな愚痴話を聞かされやうとは、流石男爵も心中一方ならず意外を感じられたのであつた。調子に乘るではないが、酒の微醺と二人連れの男爵は、我知らず興が加はつて來て、熱燗の追加を申付けられるやうな事に立ち至つた。

●全く防腐劑の入らない
日本醇良酒　御卸 小賣 旅館
京城新町 電話九二四 田中酒造場

□英國婦人の自活費

獨逸や佛蘭西では婦人が男子に代つて種々の仕事をしてゐるが英吉利では未だそれ程に人手が足りない譯では無いので婦人の自活は一寸六ケ敷い▲役所で使ふ婦人は大學卒業者に限られてゐて給料も餘り好い方では無いが應募者は澤山ある▲最近に倫敦のある家庭通信者が調査した所に據ると商舖の事務員から女學士の役員までを通じて一週間の給料最低十二圓五十錢最高二十圓で其費ひ途は大體次のやうになるとのこと

費目	十二圓取	十五圓取	二十圓取
間代	二圓	三圓	五圓
洗濯費	五十錢餘	五十錢餘	一圓五十錢
瓦斯代	一圓	一圓	一圓
食費	三圓五十錢餘	五圓餘	六圓
衣服費	二圓	二圓	三圓
保險及預金	—	五十錢	一圓餘
雜費	一圓五十錢	二圓	二圓五十錢

□紀元節俳句會

俳諧散心第三十二回

題、春淺し、梅、耕、鳥の巣、各五句、作者九人、選者八人、互選結果、屋黄子(十五點)耕伯、田打夫(各十點)山民(九點)溶丘(七點)以下略。

五點
成旦に布遊へば江や梅の志　山民

三點
春淺き髪に透く日よ備前給　橙黄子
春淺き緣に沿き去ぬ流れ手桝　田打夫

二點
畑打や學校の唱歌日々同じ　耕伯
鳥の巣や鮮語巧みに宣敎師　同
反く子は何氣ないや畑を打つ　青丘
畑打や鍬は碑殿に預け去る　同
陶窯の火色や梅に客遊ぶ　橙黄子
僧の灯に番く樹はある鳥巣かな　同
鳥居まを倫人は掃く宮の梅　田打夫
耕人にまま土の香や夜雨來し　同
飼馬桶に息影動く梅日和　溶堂
沈む日に起つ潮風や梅寒し　山民

其他の句
畑打の父に呼べる藍胴かな　韮城
鵲の巣や檣まゝなる楢の丘　寂亭
春淺し淋しく我が坐し居る丁稚　北星

雉子郎氏より一句あり曰く
ポプラアカシヤ稍春めきぬ居る

▲次回二月十七日午後六時より於耕伯居『春雉』十句

□晉妹を偲ぶ

浮碧樓

給具のかず揃ひ梅咲きぬ
鎌に册つさし中の一人なりしが
春淺き學校友だちの顏
女子師範へ行く最後の夜の蒲團
母娘の首途の雪解風なる
廢重の梅の再遊路ならめ
春寒くも七年目の商人なる叔父逝

▲高千穗學校生徒募集　東京府豐多摩郡大久保町高千穗學校初等部小學部(申込期日二月十日)中學部(申込期日三月末日)商學部(申込期日四月十日)各部とも自宅及同校塾舍より通學する者に限り入學を許可する由

新刊紹介

▲新刊圖書雜誌月報(新年號)　價不詳東京市神田區表神保町東京堂
▲茶業界(二月號)　十錢靜岡市茶業組合聯合會議所內共發行所
▲東洋皮革新誌(四五)　十錢大阪市西區淡路町二の七共社
▲ローマ字(二月號)　十二錢東京市麴町區一のニローマ字ひろめ會
▲讀書の栞(五の二)　價不詳東京市日本橋區數寄屋町九六合館
▲經世(一〇六)　十三錢東京市芝區田村町六共社
▲ミツワ文庫(四五)　十錢東京市日本橋區橘町四丸見屋商店
▲ホトトギス(二月號)　高濱虚子の敍行式と私及び進むべき俳句の道、渋井案影、芭蕉俳句研究其他俳句入門欄其他如例(二十七錢東京市麴町區飯田町一二共發行所)
▲夕空(二月號)　俳句に現はれたるローカルカラー(服部嘉香)及び若宗の新來短歌雜に等集句等の收録(十錢東京市日本橋區小舟町中九其發行所)
▲家庭(二月號)理想の家庭を作るには(下田次郎)外四編、說話不破村の浮世物語外十數編の趣味的讀物長谷川時雨の罪重の罪外四編、小說其他(二十錢東京市外巢鴨宮下一七六三共社)
▲東京(二月號)　添田博士外數士の論說及諸家史論吉樂と歌劇當世表首(三)其他江戸時代の十八大通雜に吉井勇小川未明の小說等(二十二錢東京市神田區三河町三の一五東京社)
▲殖產新報(二月號)組合製絲の利益及其の經營法山崎學士外數說及び調查雜錄世說絹節織物投資品其他の各欄依例充實す(十八錢東京市日本橋區箱崎町一四共社)
▲世の中(二月號)花街情史(松川南男)及び中太郎の內藏助と神物語其他と樂屋等の外世の中智識小文を征伐する法案實說總の女優等(二十錢東京市麴町區有樂町一の四實業之世界社)
▲現代之圖案工藝(二月號)如例石版鋼版の圖案畫數葉を卷頭に配し中には新古精品意匠稻樣外二十數編あり(特價圖案藝苑を表せり)(二十五錢東京市赤阪區靑山南町二の四〇共社)
▲日本印刷界(新年號)　印刷業と圖字問題利いた廣告利く廣告謂れるビラ畫の圖案、廣告物研究倶樂部其他如例(特價二十七錢大阪市東區南本町二共社)
▲自由評論(二月號)尾崎行雄の罪惡を暴露して三派聯合士に告ぐ冷たき夜の獄中より板垣伯の合議を讀捐したる淺野總一郎其他(十二錢東京市赤阪區田町七の一三共社)
▲法科學報(新年號)指針資料學說判例評論其他の部門に分ち各種の法律實際問題に就て博士學士弁護士等の諸名士の說を載せたるもの(十一錢東京市神田區猿樂町一の二帝國法科學報社)
▲發明化學工業界(新年號)內外各國各種の發明特許並に化學工業に關する狀況研究調查等を報告せる小形月刊雜誌(十五錢大阪市東區道修町二丁目共發行所)

大阪三品特電

況

五月限　一二、三〇　一七一、五〇　一七一、八〇
一五、〇二　一五、〇九　一五、〇一　一五、三二　一五、三八　一五、三〇

▲後場の手振
▲變動期如何
▲現物界

寄付　後止
十二圓七十三錢　十二圓七十九錢

賣買取組高

新淋藥病 ツヨール
帝大醫學藥學博士多數實驗の結果理想的治淋劑と確定せる
⑬到處藥舖に販賣　發賣元 東京市日本橋區品川町十一 電話本局三一七番 ツヨール商會
▲本品は殺菌力强大にして絕對に胃腸を害せず、膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、消渴等其他一般急性、慢性、淋病に偉効を奏す
三十粒 五十五錢
五十粒 九十錢
百粒 一圓六十錢
廿五瓦 八十錢
▲說明書無料贈呈す
關西代理店 大阪道修町 田邊五兵衞

痔核。痔瘻。脫肛。直腸脫。痔出血。裂痔
京城長谷川町安東病院內(電話七三番)
久枝肛門病專門醫院
最新久枝式痔疾根治注射療法參考書申込進呈
遠隔地郵券二錢を要す

色が白くなる
當院に於て實地美容術に用いて効力多きは已に世人の知る處也
尙にきびそばかすしみやせる藥
毛生劑拔毛止手拔劑くせ毛
なる藥良優
藥を飮むでもつけてもきかぬ方は當院の院長洋行研究にかゝる最新白色劑を試みらるべし
御注意 東京駿河臺 東京美容院
書送呈本院に有之候せしめず許欺ご乞御注意 顏の藥赤毛の藥說明

內科　胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話 一二七九 二一九番

貯蓄預金
元金百圓ニ付日步壹錢三厘
金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黃金町 電話四三〇番 五八〇番
振替貯金口座 京城八一四番
同 龍山出張所
龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

金泉閔泉間自動車時間
金泉閔泉自動車支部
金泉電話四八番
▲小荷物運搬仕り候

大邱浦項間自動車時間
大塚農場自動車所
大邱出張部
電話一一七番

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○大有丸　二月十八日午後四時出帆
○秀吉丸　二月十四日午後四時出帆
○君が代丸　二月廿六日午後四時出帆
○神代丸　二月廿一日午後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 杉山回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行
和歌浦丸　二月十二日後五時出帆
○立神丸　二月十九日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行
○和歌浦丸　二月十八日後十時出帆
○立神丸　三月一日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行
○第三栄平丸　二月十五日後六時出帆
○第三栄平丸　二月廿五日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天草丸　毎月一日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
釜山濱埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

日本郵船仁川出帆
○三河丸　大連行　二月十日正午出帆
相模丸　二月十九日正午出帆
砂丸　二月廿八日正午出帆
仁川海岸町一丁目 郵船 回漕部

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、神戶、大阪行
彈州丸　二月　日後五時出帆
○群山、木浦、釜山、廣島、下關、神戶行
△山陽丸　二月十二日　出帆
大智丸　二月廿五日後五時出帆
山城丸　二月十五日　出帆
○安東丸　二月　日後五時出帆
×信濃川丸　二月二十日後二時出帆
○木浦、釜山、嚴原、長崎行
×安東丸　二月九日　出帆
○横濱行
×融州丸　二月廿五日後二時出帆
○蛮東丸　二月　日
○大連直行
×信濃川丸　二月十六日正午出帆
安東丸　二月五日正午出帆
○釜山、横濱行
×湖南丸　二月　日正午出帆
臺東丸　二月　日
○淸津、雄基、城津、西湖津、元山、仁川寄港
▲御安平丸　二月廿三日後二時出帆
▲宮平丸　二月　日
○木浦、釜山、神戶、大阪行
大智丸　二月　日正午十二時出帆
山東丸　二月　日
○上海、芝罘、打狗行(大連出帆)
北丸　二月　日前六時出帆
湖北丸　二月廿四日後四時出帆
基隆丸
御注意 大阪商船會社仁川支店 電話二三番 二〇五番 四五〇番
切符發賣所

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行
第一共同丸　二月十六日午後入港　二月十八日正午出帆
朝鮮總督府命令航路
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕店
京城取次店 南大門 電話二六八・二〇七 河村運送店

朝鮮郵船出帆
○京城丸　二月廿三日
○黃海丸　三月五日
○成鏡丸　三月十五日
○全羅丸　二月十八日
釜山發
○鏡城丸　二月十五日
○昌平丸　二月廿二日
○平城丸　二月十九日
元山發
○昌慶丸　二月　日　元山發
○咸興丸　二月十七日　釜山發
○江原丸　毎日　浦項發
○三浦丸　二月十五日　釜山發
○統營丸 ○海州丸 ○巨濟丸 ○慶尙丸　毎日　釜山發
○平安丸 ○忠淸丸　三月　七日　元山發
○順天丸　三日目毎に　木浦發
○慶興丸　二月十四日　木浦發
○廖州丸　二月廿二日
○公州丸　二月十七日　木浦發
○江原丸　二月十九日　仁川發
○麗水丸 ○晋州丸　二月十七日　仁川發
○錦江丸　二月十四日　仁川發
○全北丸 ○南陽丸　毎日午前　仁川發
本社 京城南大門通 電話九二一 支店 仁川 松原運送店

レート白粉
東京 平尾贊平
第一に……(流行の標準化粧)……
クレームレートをお顏に引き
それからレート白粉をば塗る
これが今流行の化粧標準で、即ち新東京式として評判となつて居るお化粧の仕方で御座います
クレームレートを地に引いた上へレート白粉をお塗けになつたお化粧の美しさは、他の白粉と較べて、屹度人が違つた程美くしう厶います。
白さに艶があるお化粧崩れせぬ